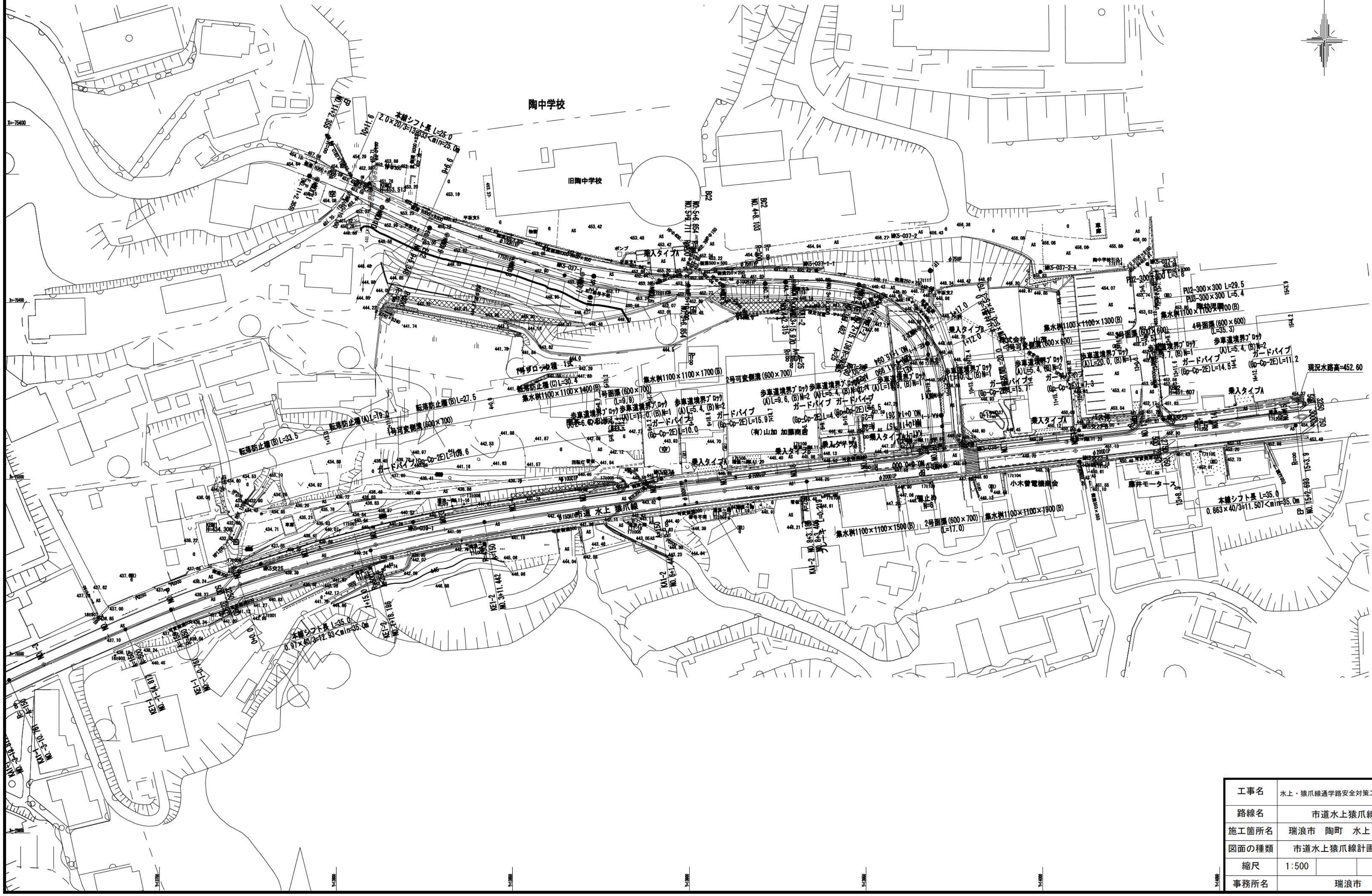
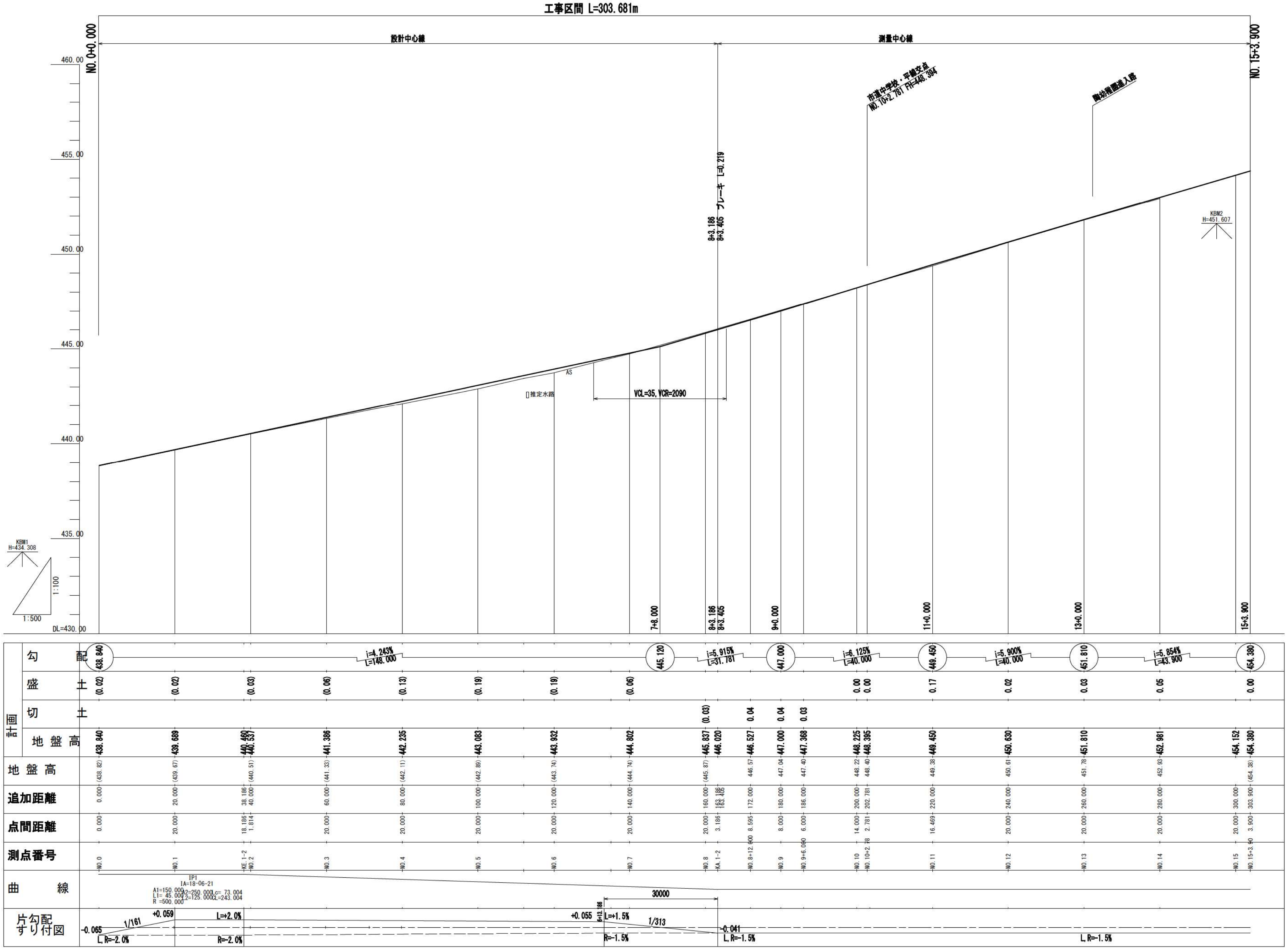
水上猿爪線、陶中学校・平線　計画平面図



工事名	水上・猿爪線通学路安全対策工事（その2）
路線名	市道水上猿爪線
施工箇所名	瑞浪市　陶町　水上　地内
図面の種類	市道水上猿爪線計画平面図
縮尺	1:500
事務所名	瑞浪市

市道水上猿爪線計画縦断図



市道水上猿爪線設計条件表		
項目	基準値	設計値
道路区分		3種4級
設計速度		40km／h
車線幅員	2.75	2.75
路肩幅員	0.75(0.50)	0.75,0.50
最小曲線半径	60(50)	500.0
最小曲線長	500/θ(70)	243.004
最小緩和区間長	35.0	45.0
緩和曲線省略半径	500.0	
片勾配省略半径	600.0	
最急縦断勾配	7.0(10.0)	6.125
最小縦断曲線長	35.0	35.0
最小縦断曲線半径凸	450.0	
最小縦断曲線半径凹	450.0	2090.0
最大片勾配	6.0	2.0
最大合成勾配	11.5	6.306
片勾配すり付率	1/100	1/313
標準横断勾配	1.5	1.5
制動停止距離	40.0	

工事名	水上・猿爪線通学路安全対策工事（その2）
	市道水上猿爪線
施工箇所名	瑞浪市　陶町　水上　地内
図面の種類	縦断図
縮尺	V=1:100 H=1:500
事務所名	瑞浪市

市道水上猿爪線標準横断図

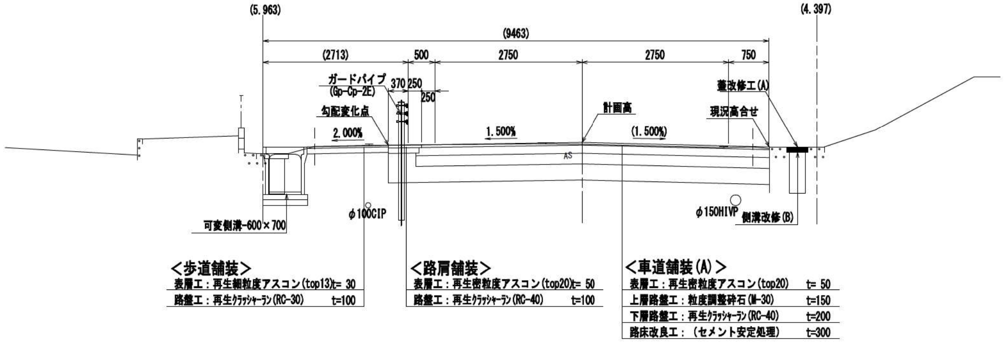
S=1:50

設計条件

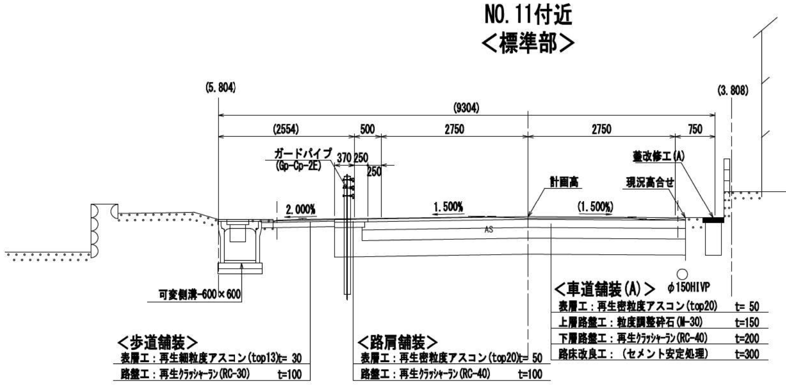
路　線　名	市道水上猿爪線	備　考
道 路 規 格	第３種第４級	
設 計 速 度	V=40km／h	
車 道 幅 員	W=2.75m×2車線	
路 肩 幅 員	W=0.75m, 0.50m	
車道横断勾配	i =1.50%～2.00%	
交通区分 計画交通量	N3　40≦T＜100台/日	
現況路床設計ＣＢＲ	2.1%	
設計ＣＢＲ	4%	

＊在来路床のCBR=2.1%から、経済比較の結果、設計CBR=4%、路床改良厚=30cmを採用した。
施工の際には　CBRを確認し、想定値と相違が出たら監督員と協議の上、最適構成厚を決定すること。

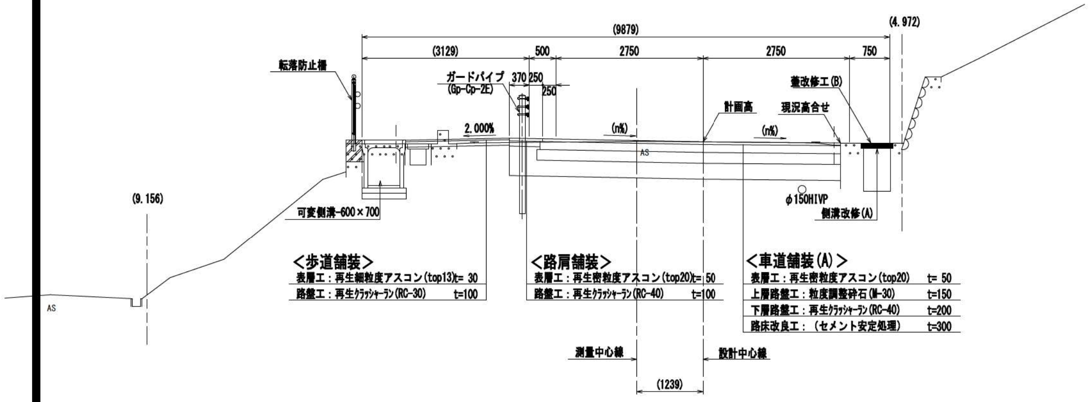
NO.8付近 <標準部>



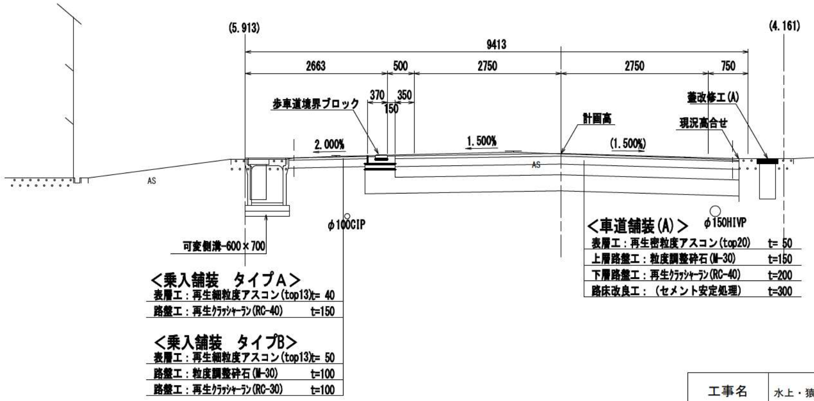
NO.11付近 <標準部>



NO.3付近 <曲線部>



乗入部

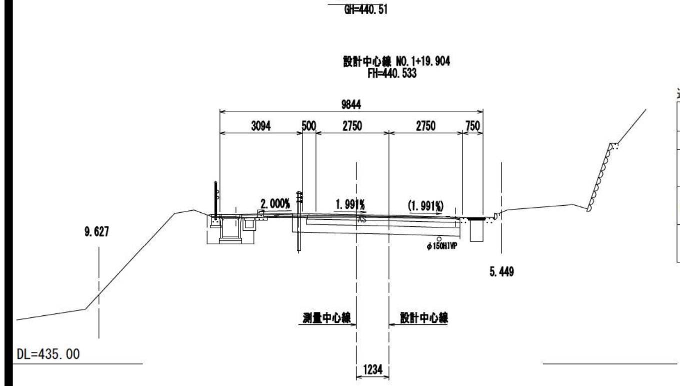


注：上水等の地下埋設物の位置・断面は参考であり
施工時に、試掘等を実施し　現地にて確認を行うこと。

工事名	水上・猿爪線通学路安全対策工事（その2）
路線名	市道水上猿爪線
施工箇所名	瑞浪市　陶町　水上　地内
図面の種類	市道水上猿爪線標準横断図
縮尺	1:50
事務所名	瑞浪市

市道水上猿爪線計画横断図（１）

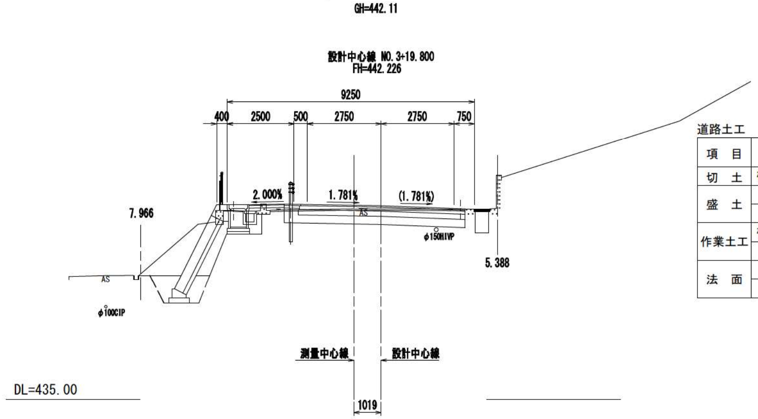
NO. 2



道路土工

項 目	種 別	記号	単位	数 量	適 用
切 土	機械掘削(土砂)	KCA	m²	1.8	オープン掘削
盛 土	路体盛土	BA1	m²	0.3	
	路床盛土	BA2	m²	0.0	
作業土工	機械床掘(土砂)	KEA	m²	1.5	
	機械埋戻	KSA	m²	0.6	
法 面	切土法面整形		m	0.0	
	盛土法面整形		m	0.0	

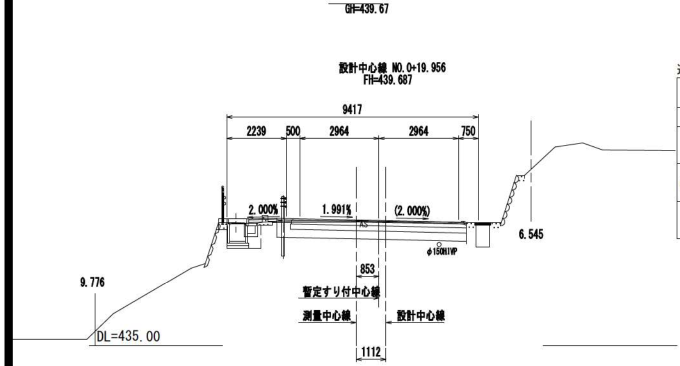
NO. 4



道路土工

項 目	種 別	記号	単位	数 量	適 用
切 土	機械掘削(土砂)	KCA	m²	1.5	オープン掘削
盛 土	路体盛土	BA1	m²	0.4	
	路床盛土	BA2	m²	0.0	
作業土工	機械床掘(土砂)	KEA	m²	6.4	
	機械埋戻	KSA	m²	1.5	
法 面	切土法面整形		m	0.0	
	盛土法面整形		m	0.0	

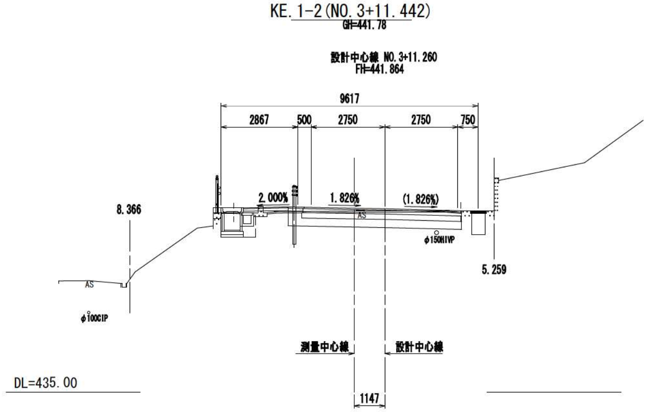
NO. 1



道路土工

項 目	種 別	記号	単位	数 量	適 用
切 土	機械掘削(土砂)	KCA	m²	2.1	オープン掘削
盛 土	路体盛土	BA1	m²	0.3	
	路床盛土	BA2	m²	0.0	
作業土工	機械床掘(土砂)	KEA	m²	0.9	
	機械埋戻	KSA	m²	0.3	
法 面	切土法面整形		m	0.0	
	盛土法面整形		m	0.0	

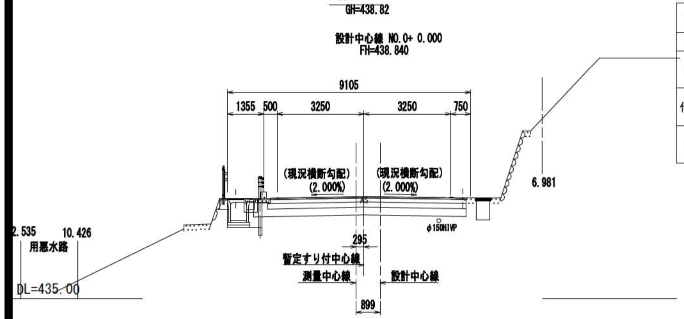
KE. 1-2 (NO. 3+11. 442)



道路土工

項 目	種 別	記号	単位	数 量	適 用
切 土	機械掘削(土砂)	KCA	m²	1.6	オープン掘削
盛 土	路体盛土	BA1	m²	0.5	
	路床盛土	BA2	m²	0.0	
作業土工	機械床掘(土砂)	KEA	m²	0.9	
	機械埋戻	KSA	m²	0.2	
法 面	切土法面整形		m	0.0	
	盛土法面整形		m	0.0	

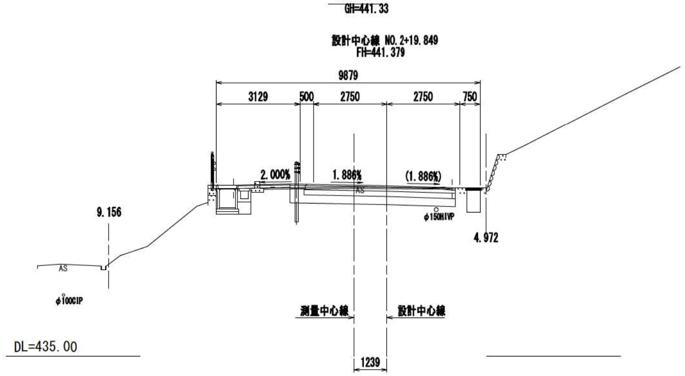
NO. 0



道路土工

項 目	種 別	記号	単位	数 量	適 用
切 土	機械掘削(土砂)	KCA	m²	2.5	オープン掘削
盛 土	路体盛土	BA1	m²	0.1	
	路床盛土	BA2	m²	0.0	
作業土工	機械床掘(土砂)	KEA	m²	1.1	
	機械埋戻	KSA	m²	0.3	
法 面	切土法面整形		m	0.0	
	盛土法面整形		m	0.0	

NO. 3



道路土工

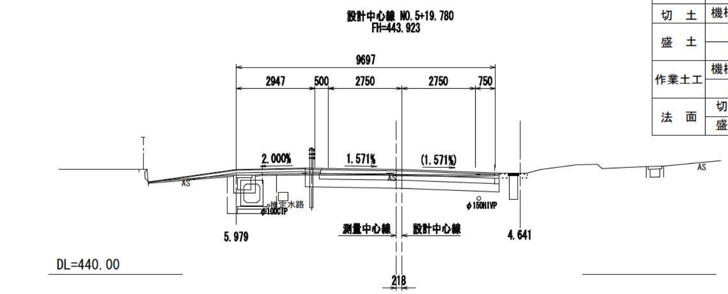
項 目	種 別	記号	単位	数 量	適 用
切 土	機械掘削(土砂)	KCA	m²	1.6	オープン掘削
盛 土	路体盛土	BA1	m²	0.4	
	路床盛土	BA2	m²	0.0	
作業土工	機械床掘(土砂)	KEA	m²	1.0	
	機械埋戻	KSA	m²	0.2	
法 面	切土法面整形		m	0.0	
	盛土法面整形		m	0.0	

注：上水等の地下埋設物の位置・断面は参考であり
施工時に、試掘等を実施し 現地にて確認を行うこと。

工事名	水上・猿爪線通学路安全対策工事（その2）
路線名	市道水上猿爪線
施工箇所名	瑞浪市 陶町 水上 地内
図面の種類	市道水上猿爪線計画横断図（１）
縮尺	1:100
事務所名	瑞浪市

市道水上猿爪線計画横断図（2）

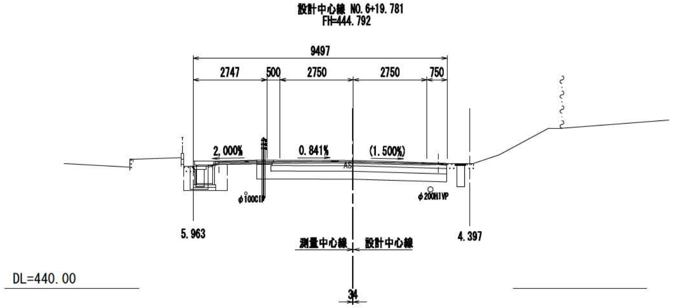
NO. 6
GH=443.74



道路土工

項　目	種　　別	記号	単位	数　　量	適　　用
切　土	機械掘削(土砂)	KCA	m^2	1.3	オープン掘削
盛　土	路体盛土	BA$_1$	m^2	0.7	
	路床盛土	BA$_2$	m^2	0.0	
作業土工	機械床掘(土砂)	KEA	m^2	2.1	
	機械埋戻	KSA	m^2	1.2	
法　面	切土法面整形		m	0.0	
	盛土法面整形		m	0.0	

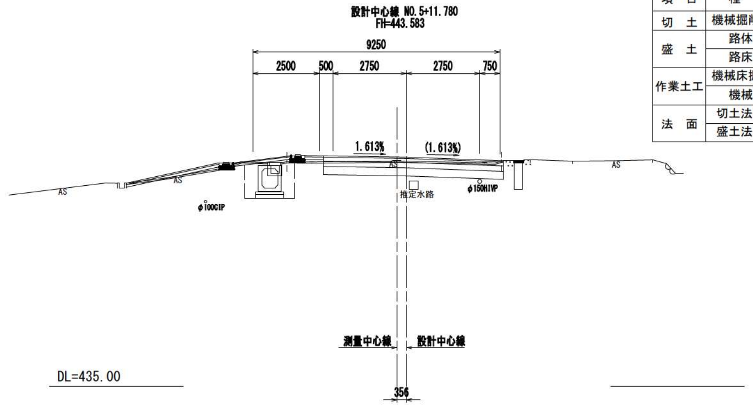
NO. 7
GH=444.74



道路土工

項　目	種　　別	記号	単位	数　　量	適　　用
切　土	機械掘削(土砂)	KCA	m^2	2.0	オープン掘削
盛　土	路体盛土	BA$_1$	m^2	0.0	
	路床盛土	BA$_2$	m^2	0.0	
作業土工	機械床掘(土砂)	KEA	m^2	0.9	
	機械埋戻	KSA	m^2	0.8	
法　面	切土法面整形		m	0.0	
	盛土法面整形		m	0.0	

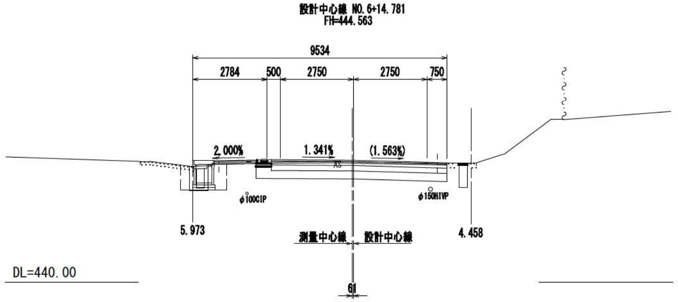
NO. 5+12.000
GH=443.44



道路土工

項　目	種　　別	記号	単位	数　　量	適　　用
切　土	機械掘削(土砂)	KCA	m^2	1.4	オープン掘削
盛　土	路体盛土	BA$_1$	m^2	0.3	
	路床盛土	BA$_2$	m^2	0.0	
作業土工	機械床掘(土砂)	KEA	m^2	2.2	
	機械埋戻	KSA	m^2	1.3	
法　面	切土法面整形		m	0.0	
	盛土法面整形		m	0.0	

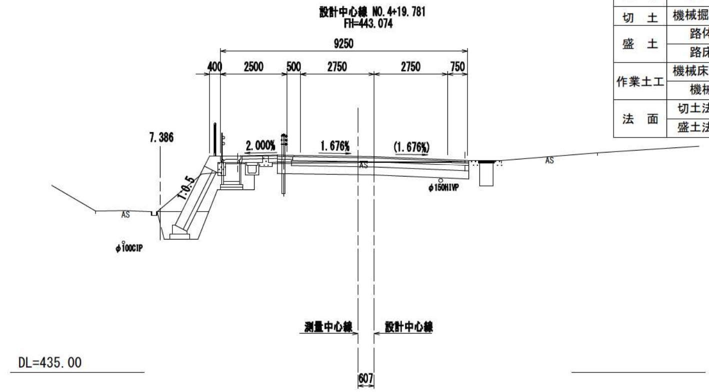
NO. 6+15.000
GH=444.50



道路土工

項　目	種　　別	記号	単位	数　　量	適　　用
切　土	機械掘削(土砂)	KCA	m^2	1.9	オープン掘削
盛　土	路体盛土	BA$_1$	m^2	0.0	
	路床盛土	BA$_2$	m^2	0.0	
作業土工	機械床掘(土砂)	KEA	m^2	1.0	
	機械埋戻	KSA	m^2	0.9	
法　面	切土法面整形		m	0.0	
	盛土法面整形		m	0.0	

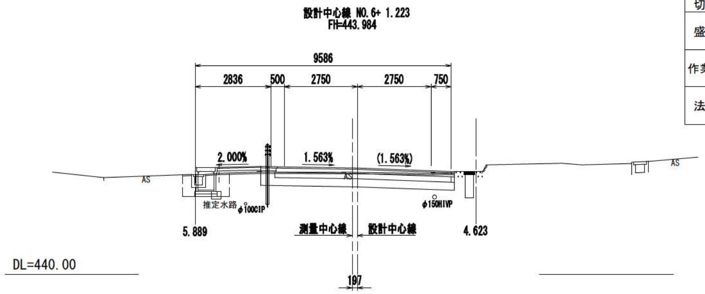
NO. 5
GH=442.89



道路土工

項　目	種　　別	記号	単位	数　　量	適　　用
切　土	機械掘削(土砂)	KCA	m^2	1.3	オープン掘削
盛　土	路体盛土	BA$_1$	m^2	0.6	
	路床盛土	BA$_2$	m^2	0.0	
作業土工	機械床掘(土砂)	KEA	m^2	4.6	
	機械埋戻	KSA	m^2	1.4	
法　面	切土法面整形		m	0.0	
	盛土法面整形		m	0.0	

KA. 1-2（NO. 6+1. 442）
GH=443.82



道路土工

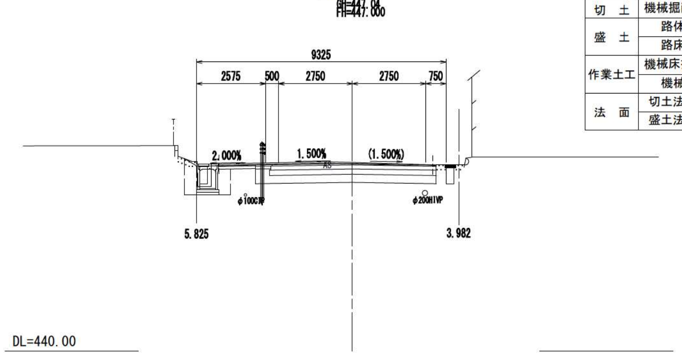
項　目	種　　別	記号	単位	数　　量	適　　用
切　土	機械掘削(土砂)	KCA	m^2	1.3	オープン掘削
盛　土	路体盛土	BA$_1$	m^2	0.1	
	路床盛土	BA$_2$	m^2	0.0	
作業土工	機械床掘(土砂)	KEA	m^2	1.2	
	機械埋戻	KSA	m^2	0.7	
法　面	切土法面整形		m	0.0	
	盛土法面整形		m	0.0	

注：上水等の地下埋設物の位置・断面は参考であり
施工時に、試掘等を実施し 現地にて確認を行うこと。

工事名	水上・猿爪線通学路安全対策工事（その2）
路線名	市道水上猿爪線
施工箇所名	瑞浪市　陶町　水上　地内
図面の種類	市道水上猿爪線計画横断図（２）
縮尺	1:100
事務所名	瑞浪市

市道水上猿爪線計画横断図（３）

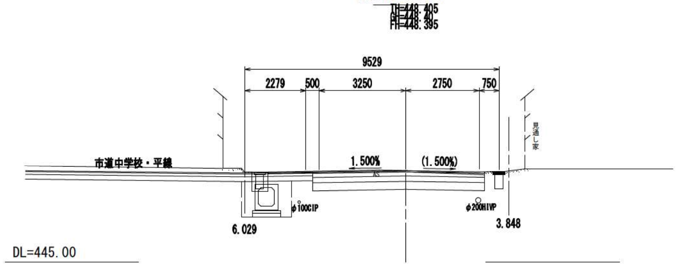
NO. 9



道路土工

項目	種別	記号	単位	数量	適用
切土	機械掘削(土砂)	KCA	m²	2.7	オープン掘削
盛土	路体盛土	BA1	m²	0.0	
	路床盛土	BA2	m²	0.0	
作業土工	機械床掘(土砂)	KEA	m²	1.5	
	機械埋戻	KSA	m²	1.1	
法面	切土法面整形		m	0.0	
	盛土法面整形		m	0.0	

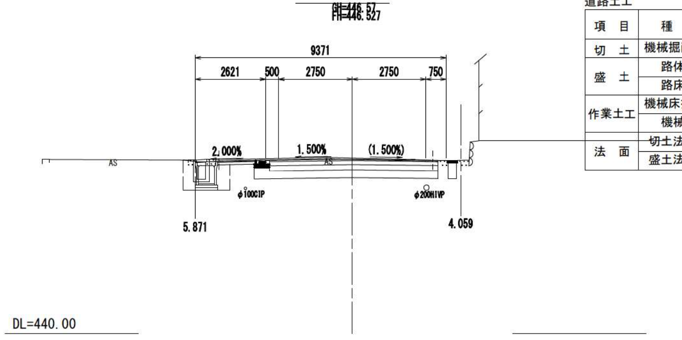
NO. 10+2.78



道路土工

項目	種別	記号	単位	数量	適用
切土	機械掘削(土砂)	KCA	m²	2.8	オープン掘削
盛土	路体盛土	BA1	m²	0.1	
	路床盛土	BA2	m²	0.0	
作業土工	機械床掘(土砂)	KEA	m²	2.3	
	機械埋戻	KSA	m²	1.3	
法面	切土法面整形		m	0.0	
	盛土法面整形		m	0.0	

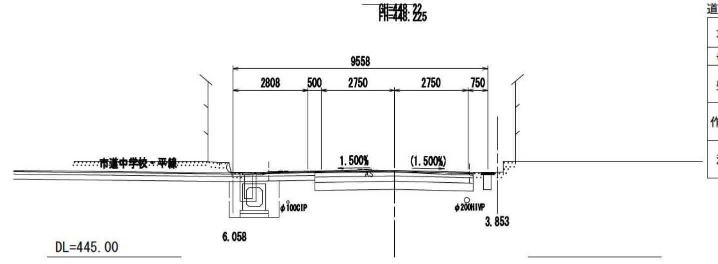
NO. 8+12.000



道路土工

項目	種別	記号	単位	数量	適用
切土	機械掘削(土砂)	KCA	m²	2.9	オープン掘削
盛土	路体盛土	BA1	m²	0.0	
	路床盛土	BA2	m²	0.0	
作業土工	機械床掘(土砂)	KEA	m²	1.4	
	機械埋戻	KSA	m²	1.0	
法面	切土法面整形		m	0.0	
	盛土法面整形		m	0.0	

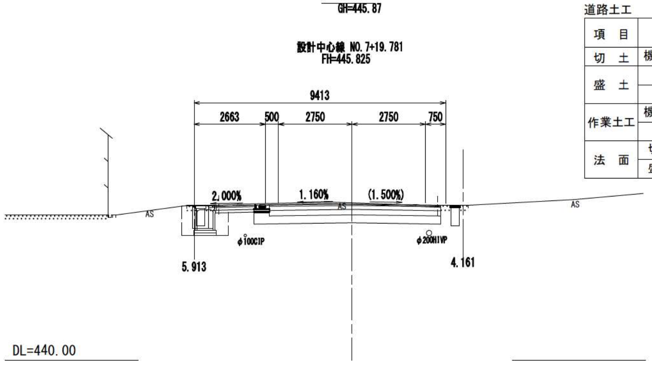
NO. 10



道路土工

項目	種別	記号	単位	数量	適用
切土	機械掘削(土砂)	KCA	m²	2.7	オープン掘削
盛土	路体盛土	BA1	m²	0.1	
	路床盛土	BA2	m²	0.0	
作業土工	機械床掘(土砂)	KEA	m²	2.1	
	機械埋戻	KSA	m²	1.3	
法面	切土法面整形		m	0.0	
	盛土法面整形		m	0.0	

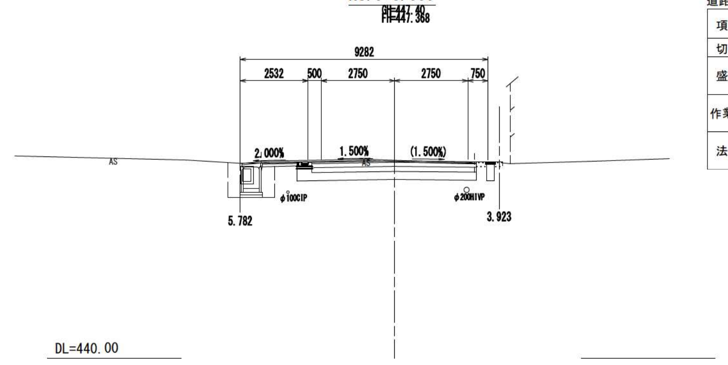
NO. 8



道路土工

項目	種別	記号	単位	数量	適用
切土	機械掘削(土砂)	KCA	m²	3.0	オープン掘削
盛土	路体盛土	BA1	m²	0.0	
	路床盛土	BA2	m²	0.0	
作業土工	機械床掘(土砂)	KEA	m²	1.3	
	機械埋戻	KSA	m²	0.9	
法面	切土法面整形		m	0.0	
	盛土法面整形		m	0.0	

NO. 9+6.000



道路土工

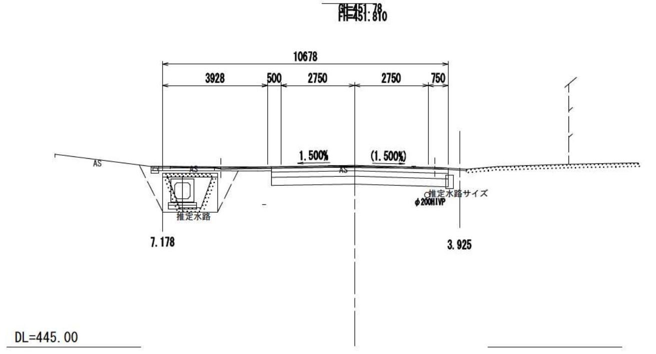
項目	種別	記号	単位	数量	適用
切土	機械掘削(土砂)	KCA	m²	2.7	オープン掘削
盛土	路体盛土	BA1	m²	0.0	
	路床盛土	BA2	m²	0.0	
作業土工	機械床掘(土砂)	KEA	m²	2.2	
	機械埋戻	KSA	m²	1.2	
法面	切土法面整形		m	0.0	
	盛土法面整形		m	0.0	

注：上水等の地下埋設物の位置・断面は参考であり
施工時に、試掘等を実施し 現地にて確認を行うこと。

工事名	水上・猿爪線通学路安全対策工事（その2）
路線名	市道水上猿爪線
施工箇所名	瑞浪市 陶町 水上 地内
図面の種類	市道水上猿爪線計画横断図（３）
縮尺	1:100
事務所名	瑞浪市

市道水上猿爪線計画横断図（4）

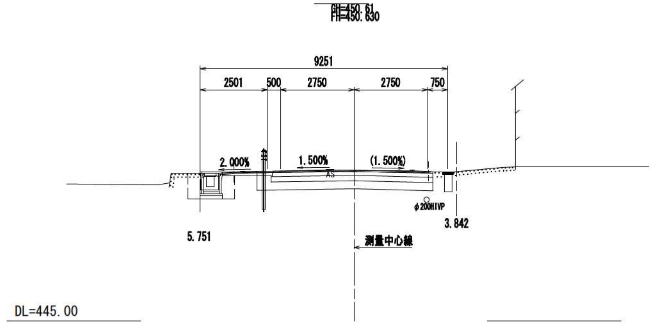
NO. 13



道路土工

項目	種別	記号	単位	数量	適用
切土	機械掘削(土砂)	KCA	m^2	2.7	オープン掘削
盛土	路体盛土	BA_1	m^2	2.0	
	路床盛土	BA_2	m^2	0.0	
作業土工	機械床掘(土砂)	KEA	m^2	1.4	
	機械埋戻	KSA	m^2	1.4	
法面	切土法面整形		m	0.0	
	盛土法面整形		m	0.0	

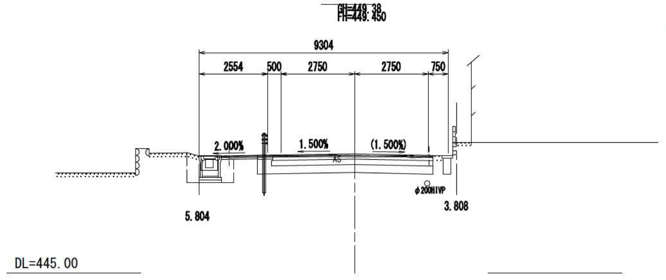
NO. 12



道路土工

項目	種別	記号	単位	数量	適用
切土	機械掘削(土砂)	KCA	m^2	2.3	オープン掘削
盛土	路体盛土	BA_1	m^2	0.0	
	路床盛土	BA_2	m^2	0.0	
作業土工	機械床掘(土砂)	KEA	m^2	1.2	
	機械埋戻	KSA	m^2	0.9	
法面	切土法面整形		m	0.0	
	盛土法面整形		m	0.0	

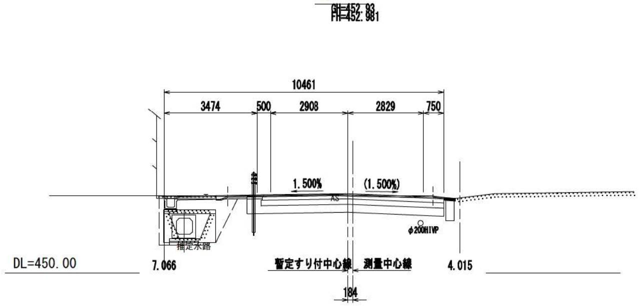
NO. 11



道路土工

項目	種別	記号	単位	数量	適用
切土	機械掘削(土砂)	KCA	m^2	2.0	オープン掘削
盛土	路体盛土	BA_1	m^2	0.0	
	路床盛土	BA_2	m^2	0.0	
作業土工	機械床掘(土砂)	KEA	m^2	1.4	
	機械埋戻	KSA	m^2	0.9	
法面	切土法面整形		m	0.0	
	盛土法面整形		m	0.0	

NO. 14



道路土工

項目	種別	記号	単位	数量	適用
切土	機械掘削(土砂)	KCA	m^2	2.4	オープン掘削
盛土	路体盛土	BA_1	m^2	1.4	
	路床盛土	BA_2	m^2	0.0	
作業土工	機械床掘(土砂)	KEA	m^2	1.9	
	機械埋戻	KSA	m^2	1.6	
法面	切土法面整形		m	0.0	
	盛土法面整形		m	0.0	

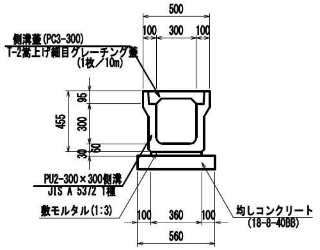
注：上水等の地下埋設物の位置・断面は参考であり
施工時に、試掘等を実施し　現地にて確認を行うこと。

工事名	水上・猿爪線通学路安全対策工事（その2）
路線名	市道水上猿爪線
施工箇所名	瑞浪市　陶町　水上　地内
図面の種類	市道水上猿爪線計画横断図（4）
縮尺	1:100
事務所名	瑞浪市

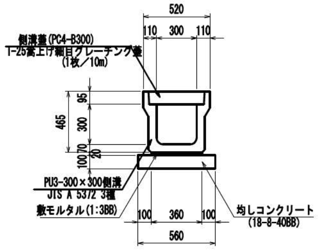
排水工構造図（1）

S=1:20

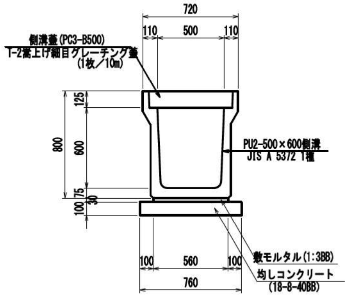
PU2-300×300



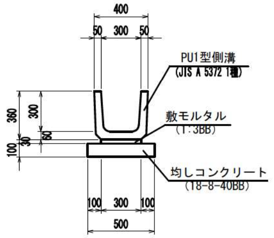
PU3-300×300



PU2-500×600



PU1-300×300



PU2-300×300　数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量	摘　要
側　　溝	PU2-300×300	m	10.0	
敷モルタル	1:3	m3	0.1	
均しコンクリート	18-8-40BB t=100	m2	5.6	
側 溝 蓋	PC3-300	枚	18	
グレーチング蓋	T-2嵩上げ細目 L=500	枚	2	

PU3-300×300　数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量	摘　要
側　　溝	PU3-300×300	m	10.0	
敷モルタル	1:3BB	m3	0.1	
均しコンクリート	18-8-40BB t=100	m2	5.6	
均しコンクリート型枠		m2	2.0	
側 溝 蓋	PC4-B300	枚	18	
グレーチング蓋	T-25嵩上げ細目 L=500	枚	2	

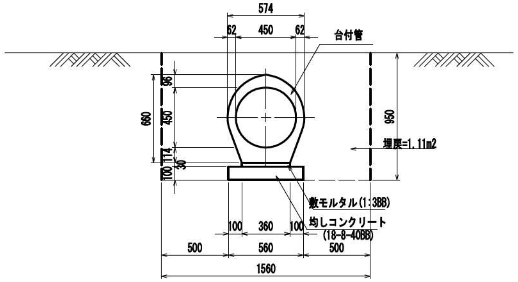
PU2-500×600　数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量	摘　要
側　　溝	PU2-500×600	m	10.0	
敷モルタル	1:3BB	m3	0.2	
均しコンクリート	18-8-40BB t=100	m2	7.6	
均しコンクリート型枠		m2	2.0	
側 溝 蓋	PC3-B500	枚	18	
グレーチング蓋	T-2嵩上げ細目 L=500	枚	2	

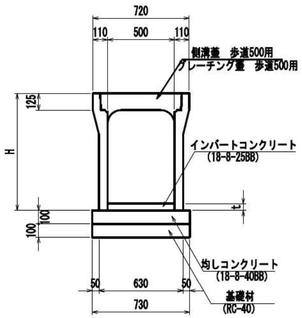
PU1-300×300　数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量	摘　要
側　　溝	PU1-300×300	m	10.0	
敷モルタル	1:3BB	m3	0.1	
均しコンクリート	18-8-40BB t=100	m2	5.0	
均しコンクリート型枠		m2	2.0	

台付管φ450



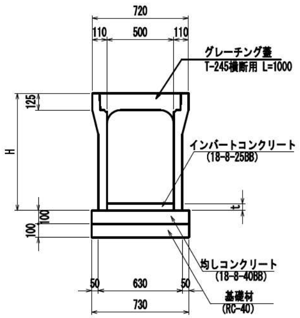
可変側溝-500×H(A)



寸法表

名称	H	t
500× 700	875	55
500× 800	975	100
500× 900	1075	52
500×1000	1175	138
500×1100	1275	109
500×1200	1375	139
500×1300	1475	202
500×1400	1575	101

可変側溝-500×H(B)
(乗入部に使用)



寸法表

名称	H	t
500× 700	875	50
500× 900	1075	50

台付管φ450　数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量	摘　要
台付管	φ450	m	10.0	
敷モルタル	1:3BB	m3	0.1	
均しコンクリート	18-8-40BB t=100	m2	5.6	
均しコンクリート型枠		m2	2.0	
床　掘		m3	14.8	
埋　戻		m3	11.1	
残土処理		m3	2.5	

可変側溝-500×H(A)　数量表 10m当り

名称	規　格	単位	数量 500×700	500×800	500×900	500×1000	500×1100	500×1200	500×1300	500×1400	摘　要
可変側溝	500×700	m	10.0								
	500×800	m		10.0							
	500×900	m			10.0						
	500×1000	m				10.0					
	500×1100	m					10.0				
	500×1200	m						10.0			
	500×1300	m							10.0		
	500×1400	m								10.0	
インバートコンクリート	18-8-25BB	m3	0.3	0.5	0.3	0.7	0.5	0.7	1.0	0.5	
均しコンクリート	18-8-40BB t=100	m2	7.3	7.3	7.3	7.3	7.3	7.3	7.3	7.3	
均しコンクリート型枠		m2	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	
基礎材	RC-40 t=100	m2	7.3	7.3	7.3	7.3	7.3	7.3	7.3	7.3	
側溝蓋	歩道500用 L=500	枚	8	8	8	8	8	8	8	8	
グレーチング蓋	歩道500用 L=500	枚	2	2	2	2	2	2	2	2	

可変側溝-500×H(B)　数量表 10m当り

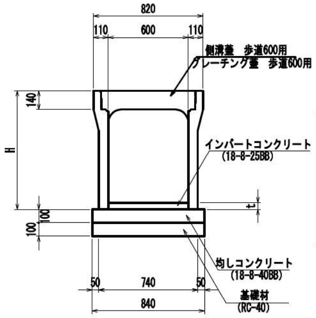
名称	規　格	単位	数量 500×700	500×900	摘　要
可変側溝	500×700横断用	m	10.0		
	500×900横断用	m		10.0	
インバートコンクリート	18-8-25BB	m3	0.3	0.3	
均しコンクリート	18-8-40BB t=100	m2	7.3	7.3	
均しコンクリート型枠		m2	2.0	2.0	
基礎材	RC-40 t=100	m2	7.3	7.3	
グレーチング蓋	T-245横断用 L=1000	枚	5	5	

工事名	水上・猿爪線通学路安全対策工事（その2）		
路線名	市道水上猿爪線、陶中学校・平線		
施工箇所名	瑞浪市　陶町　水上　地内		
図面の種類	排水工構造図（1）		
縮尺	1:20		
事務所名	瑞浪市		

排水工構造図（2）

S=1:20

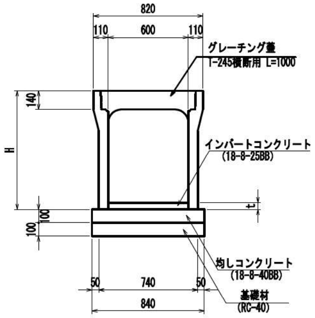
可変側溝-600×H(A)



寸法表

名称	H	t
600× 600	790	50
600× 700	890	51
600× 800	990	106
600× 900	1090	114
600×1000	1190	131
600×1100	1290	169

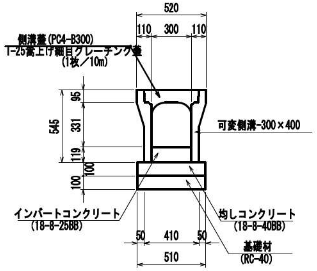
可変側溝-600×H(B)
（乗入部に使用）



寸法表

名称	H	t
600× 600	790	50
600× 700	890	50
600× 800	990	119
600× 900	1090	125

可変側溝-300×400(A)



可変側溝-600×H(A)　　数量表 10m当り

名称	規　格	単位	数　量						摘　要
			600×600	600×700	600×800	600×900	600×1000	600×1100	
可変側溝	600×600	m	10.0						
	600×700	m		10.0					
	600×800	m			10.0				
	600×900	m				10.0			
	600×1000	m					10.0		
	600×1100	m						10.0	
インバートコンクリート	18-8-25BB	m2	0.3	0.3	0.6	0.7	0.8	1.0	
均しコンクリート	18-8-40BB t=100	m2	8.4	8.4	8.4	8.4	8.4	8.4	
均しコンクリート型枠		m2	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	
基礎材	RC-40 t=100	m2	8.4	8.4	8.4	8.4	8.4	8.4	
側溝蓋	歩道600用 L=500	枚	8	8	8	8	8	8	
グレーチング蓋	歩道600用 L=500	枚	2	2	2	2	2	2	

可変側溝-600×H(B)　　数量表 10m当り

名称	規　格	単位	数　量				摘　要
			600×600	600×700	600×800	600×900	
可変側溝	600×600横断用	m	10.0				
	600×700横断用	m		10.0			
	600×800横断用	m			10.0		
	600×900横断用	m				10.0	
インバートコンクリート	18-8-25BB	m2	0.3	0.3	0.7	0.8	
均しコンクリート	18-8-40BB t=100	m2	8.4	8.4	8.4	8.4	
均しコンクリート型枠		m2	2.0	2.0	2.0	2.0	
基礎材	RC-40 t=100	m2	8.4	8.4	8.4	8.4	
グレーチング蓋	T-245横断用 L=1000	枚	5	5	5	5	

可変側溝-300×400(A)　　数量表 10m当り

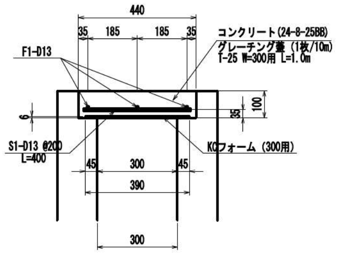
名称	規格	単位	数量	摘　要
側　　溝	可変側溝-300×400	m	10.0	
インバートコンクリート	18-8-25BB	m3	0.4	
均しコンクリート	18-8-40BB t=100	m2	5.1	
均しコンクリート型枠		m2	2.0	
基礎材	RC-40 t=100	m2	5.1	
側　溝　蓋	PC4-B300	枚	8	
グレーチング蓋	T-25嵩上げ細目 L=500	枚	2	

工事名	水上・猿爪線通学路安全対策工事（その2）
路線名	市道水上猿爪線、陶中学校・平線
施工箇所名	瑞浪市　陶町　水上　地内
図面の種類	排水工構造図（2）
縮尺	1:20
事務所名	瑞浪市

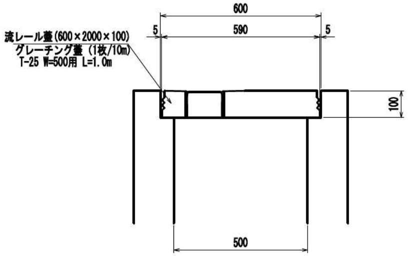
排水工構造図（3）

S=1:10

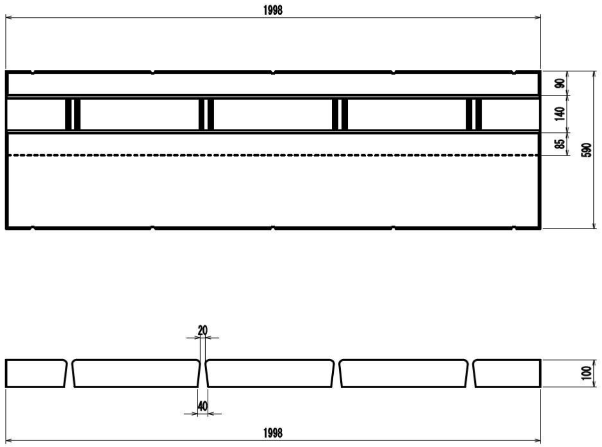
側溝蓋改良（A）



側溝蓋改良（B）



流レール蓋詳細図



側溝蓋改良（A）　数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量	摘　要
コンクリート	24-8-25BB	m3	0.4	
KCフォーム	390×6×1000	枚	9	
鉄　筋	D13	kg	44.8	
グレーチング蓋	T-25 W=300用 L=1.0m	枚	1	

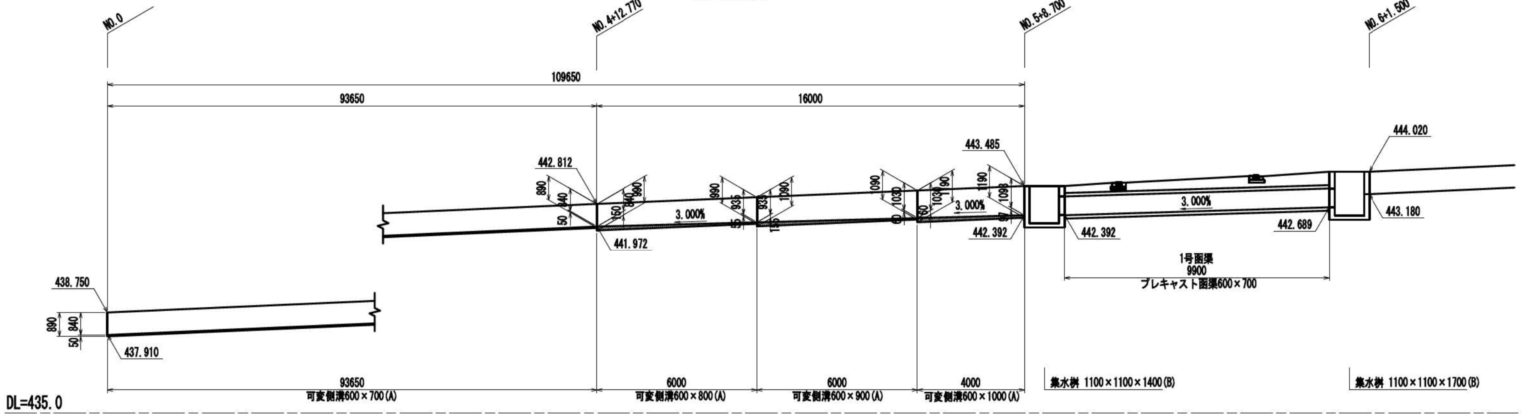
側溝蓋改良（B）　数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量	摘　要
流レール蓋	600×2000×100	枚	4.5	参考重量282kg/枚
グレーチング蓋	T-25 W=500用 L=1.0m	枚	1	

工事名	水上・猿爪線通学路安全対策工事（その2）		
路線名	市道水上猿爪線、陶中学校・平線		
施工箇所名	瑞浪市　陶町　水上　地内		
図面の種類	排水工構造図（3）		
縮尺	1:10		
事務所名	瑞浪市		

排水工構造図（4）

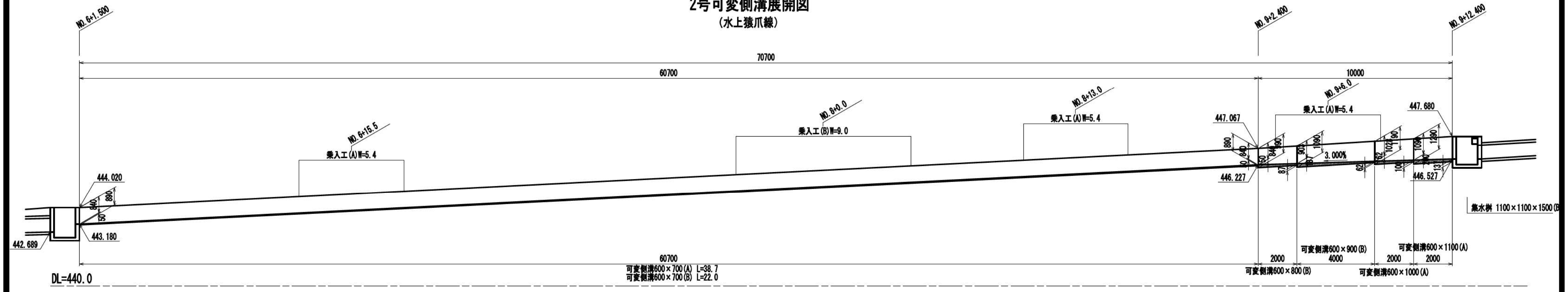
1号可変側溝展開図
（水上猿爪線）



1号可変側溝　　数量表 1式当り

名称	規格	単位	数量	摘　要
可変側溝	600×700(A)	m	93.7	
	600×800(A)	m	6.0	
	600×900(A)	m	6.0	
	600×1000(A)	m	4.0	

2号可変側溝展開図
（水上猿爪線）



可変側溝600×800(A) ｲﾝﾊﾞｰﾄｺﾝｸﾘｰﾄ厚計算表

測点、可変側溝名称	位置	延長(L)	t1	t2	面積 (t1+t2)/2×L
1号可変側溝	左	6.000	0.150	0.055	0.615
3号可変側溝	左	2.000	0.161	0.072	0.233
計		8.000			0.848
平均厚=面積計÷延長計					0.106

可変側溝600×900(A) ｲﾝﾊﾞｰﾄｺﾝｸﾘｰﾄ厚計算表

測点、可変側溝名称	位置	延長(L)	t1	t2	面積 (t1+t2)/2×L
1号可変側溝	左	6.000	0.155	0.060	0.645
3号可変側溝	左	2.000	0.172	0.082	0.254
計		8.000			0.909
平均厚=面積計÷延長計					0.112

可変側溝600×1000(A) ｲﾝﾊﾞｰﾄｺﾝｸﾘｰﾄ厚計算表

測点、可変側溝名称	位置	延長(L)	t1	t2	面積 (t1+t2)/2×L
1号可変側溝	左	4.000	0.160	0.097	0.514
2号可変側溝	左	2.000	0.162	0.100	0.262
計		6.000			0.776
平均厚=面積計÷延長計					0.129

可変側溝600×700(A) ｲﾝﾊﾞｰﾄｺﾝｸﾘｰﾄ厚計算表

測点、可変側溝名称	位置	延長(L)	t1	t2	面積 (t1+t2)/2×L
1号可変側溝	左	93.650	0.050	0.050	4.683
2号可変側溝	左	38.700	0.050	0.050	1.935
3号可変側溝	左	2.000	0.150	0.061	0.211
計		134.350			6.829
平均厚=面積計÷延長計					0.051

2号可変側溝　　数量表 1式当り

名称	規格	単位	数量	摘　要
可変側溝	600×700(A)	m	38.7	
	600×700(B)	m	22.0	
	600×800(B)	m	2.0	
	600×900(B)	m	4.0	
	600×1000(A)	m	2.0	
	600×1100(A)	m	2.0	

可変側溝600×800(B) ｲﾝﾊﾞｰﾄｺﾝｸﾘｰﾄ厚計算表

測点、可変側溝名称	位置	延長(L)	t1	t2	面積 (t1+t2)/2×L
2号可変側溝	左	2.000	0.150	0.087	0.237
計		2.000			0.237
平均厚=面積計÷延長計					0.119

可変側溝600×900(B) ｲﾝﾊﾞｰﾄｺﾝｸﾘｰﾄ厚計算表

測点、可変側溝名称	位置	延長(L)	t1	t2	面積 (t1+t2)/2×L
2号可変側溝	左	4.000	0.187	0.062	0.498
計		4.000			0.498
平均厚=面積計÷延長計					0.125

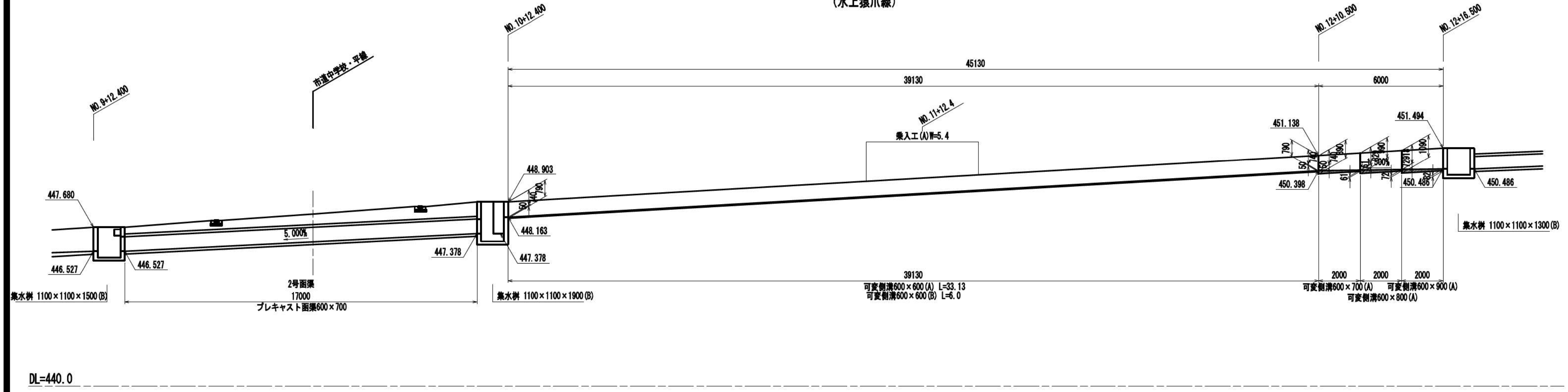
可変側溝600×1100(A) ｲﾝﾊﾞｰﾄｺﾝｸﾘｰﾄ厚計算表

測点、可変側溝名称	位置	延長(L)	t1	t2	面積 (t1+t2)/2×L
2号可変側溝	左	2.000	0.200	0.137	0.337
計		2.000			0.337
平均厚=面積計÷延長計					0.169

工事名	水上・猿爪線通学路安全対策工事（その2）	
路線名	市道水上猿爪線	
施工箇所名	瑞浪市　陶町　水上　地内	
図面の種類	排水工構造図（4）	
縮尺	1:100	
事務所名	瑞浪市	

排水工構造図（5）

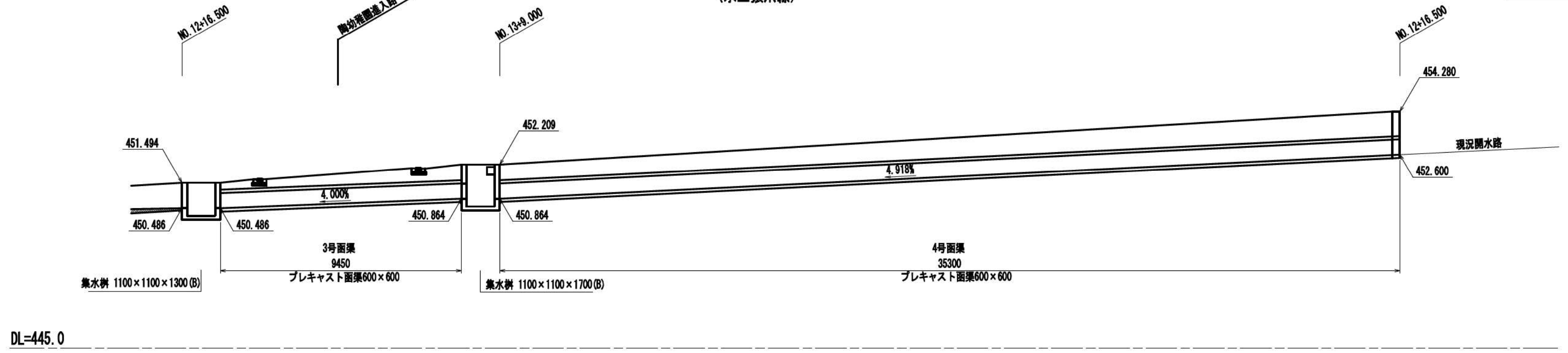
3号可変側溝展開図
（水上猿爪線）



3号可変側溝　　数量表 1式当り

名称	規格	単位	数量	摘　要
可変側溝	600×600(A)	m	33.1	
	600×600(B)	m	6.0	
	600×700(A)	m	2.0	
	600×800(A)	m	2.0	
	600×900(A)	m	2.0	

3号、4号函渠縦断図
（水上猿爪線）

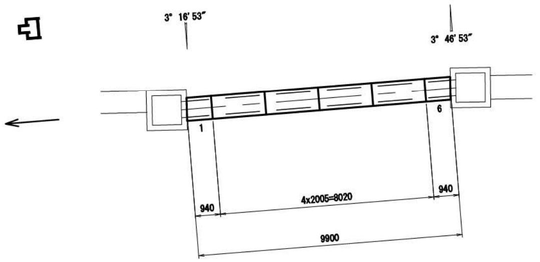


工事名	水上・猿爪線通学路安全対策工事（その2）
路線名	市道水上猿爪線
施工箇所名	瑞浪市　陶町　水上　地内
図面の種類	排水工構造図（5）
縮尺	1:100
事務所名	瑞浪市

1号函渠工構造図

S=1:100

配列平面図



※配列図の製品長は施工伸び5mm/本を考慮する。

設計条件

活荷重		——	T-25
土被り		m	0.2 ～ 3.0
単位体積重量	鉄筋コンクリート	kN/m3	24.5
	アスファルト舗装	kN/m3	22.5
	土	kN/m3	18.0
コンクリート設計基準強度		N/mm2	36
鉄筋の種類		——	SD295A
土圧係数		鉛直	1.0
		水平	0.5

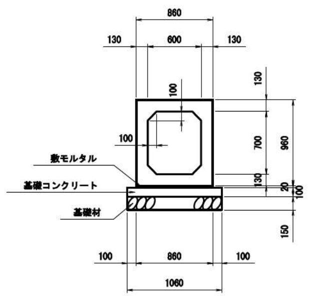
ボックスカルバート　製品数量表

一式当り

形 状 (BxHxL)	規 格	数量	製品番号	摘　要
600x 700x2000	標 準	4		参考質量；2130 kg
〃　x 935	斜 切	1	1	
〃　x 935	斜 切	1	6	
	合 計	6		

CP-N ボックスカルバート 600x700x2000 標準断面図

S=1:30



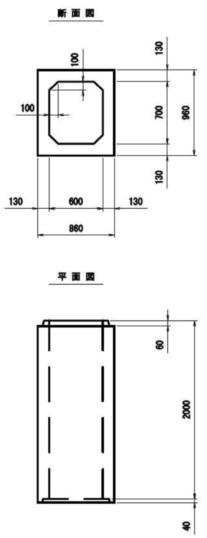
ボックスカルバート　材料表

10m当り

種　別	規　格	単位	数 量	摘　要
ボックスカルバート	T-25 B600xH700xL2000	本	5.0	10.0/2.0
敷モルタル	1:3BB	m3	0.172	0.86x0.02x10.0
基礎コンクリート	18-8-25BB	m3	1.060	1.06x0.10x10.0
同上型枠		m2	2.000	0.10x10.0x2
基礎材 (t=150mm)	RC-40	m2	10.600	1.06x10.0

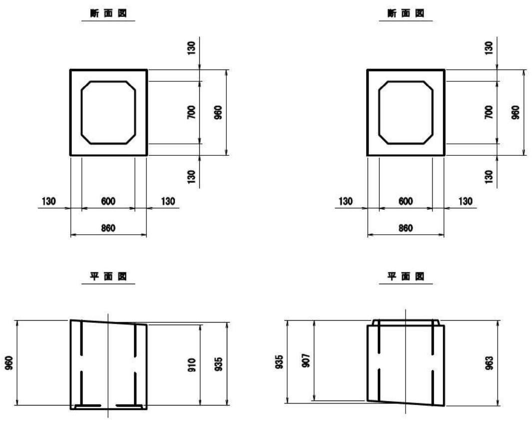
標 準 図

S=1:30



斜切詳細図

S=1:30

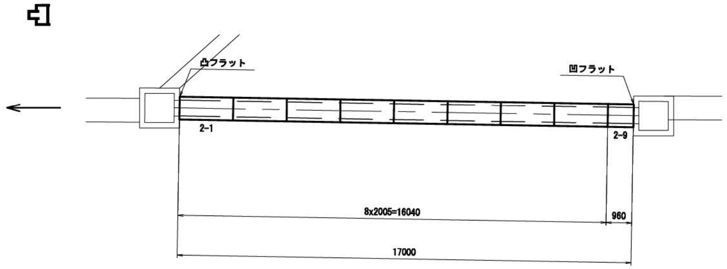


工事名	水上・猿爪線通学路安全対策工事（その2）
路線名	市道水上猿爪線
施工箇所名	瑞浪市　陶町　水上　地内
図面の種類	1号函渠工構造図
縮尺	1:100
事務所名	瑞浪市

２号函渠工構造図

S=1:100

配列平面図



設計条件

活荷重		——	T-25
土被り		m	0.2 ～ 3.0
単位体積重量	鉄筋コンクリート	kN/m3	24.5
	アスファルト舗装	kN/m3	22.5
	土	kN/m3	18.0
コンクリート設計基準強度		N/mm2	36
鉄筋の種類		——	SD295A
土圧係数		鉛直	1.0
		水平	0.5

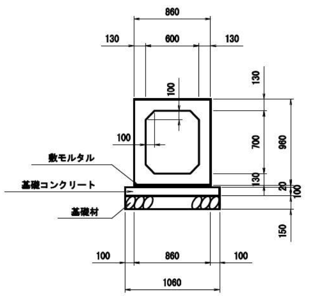
ボックスカルバート　製品数量表

一式当り

形 状 (BxHxL)	規 格	数量	製品番号	摘 要
600x 700x2000	標 準	7		参考質量；2130 kg
〃 x2000	標 準	1	2-1	凸フラット
〃 x 955	短 切	1	2-9	凹フラット
	合 計	9		

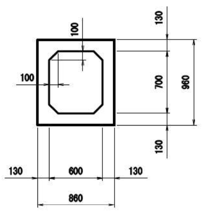
CP-N ボックスカルバート 600x700x2000 標準断面図

S=1:30

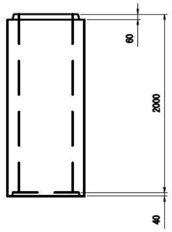


標 準 図 S=1:30

断 面 図



平 面 図



ボックスカルバート　材料表

10m当り

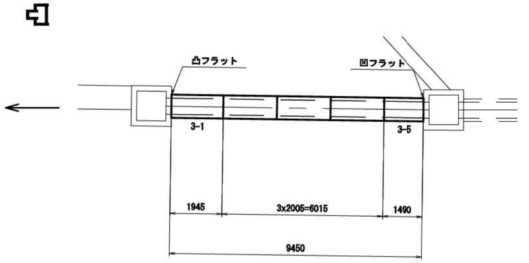
種 別	規 格	単位	数 量	摘 要
ボックスカルバート	T-25 B600xH700xL2000	本	5.0	10.0/2.0
敷モルタル	1:3BB	m3	0.172	0.86x0.02x10.0
基礎コンクリート	18-8-25BB	m3	1.060	1.06x0.10x10.0
同上型枠		m2	2.000	0.10x10.0x2
基礎材 (t=150mm)	RC-40	m2	10.600	1.06x10.0

工事名	水上・猿爪線通学路安全対策工事（その2）	
路線名	市道水上猿爪線	
施工箇所名	瑞浪市　陶町　水上　地内	
図面の種類	２号函渠工構造図	
縮尺	1:100	
事務所名	瑞浪市	

3号函渠工構造図

S=1:100

配列平面図



設計条件

活荷重		——	T-25
土被り		m	0.2 ～ 3.0
単位体積重量	鉄筋コンクリート	kN/m3	24.5
	アスファルト舗装	kN/m3	22.5
	土	kN/m3	18.0
コンクリート設計基準強度		N/mm2	36
鉄筋の種類		——	SD295A
土圧係数		鉛直	1.0
		水平	0.5

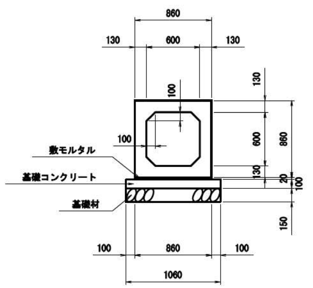
ボックスカルバート　製品数量表

一式当り

形 状 (BxHxL)	規 格	数量	製品番号	摘　要
600x 600x2000	標 準	3		参考質量；2000 kg
〃　x1940	短 切	1	3-1	凸フラット
〃　x1485	短 切	1	3-5	凹フラット
	合 計	5		

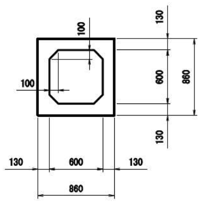
CP-N ボックスカルバート 600x600x2000 標準断面図

S=1:30

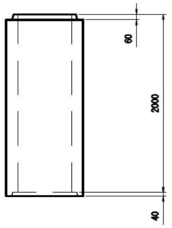


標 準 図 S=1:30

断 面 図



平 面 図



ボックスカルバート　材料表

10m当り

種　別	規　格	単位	数 量	摘　要
ボックスカルバート	T-25 B600xH600xL2000	本	5.0	10.0/2.0
敷モルタル	1:3BB	m3	0.172	0.86x0.02x10.0
基礎コンクリート	18-8-25BB	m3	1.060	1.06x0.10x10.0
同上型枠		m2	2.000	0.10x10.0x2
基礎材 (t=150mm)	RC-40	m2	10.600	1.06x10.0

工事名	水上・猿爪線通学路安全対策工事（その2）		
路線名	市道水上猿爪線		
施工箇所名	瑞浪市　陶町　水上　地内		
図面の種類	3 号函渠工構造図		
縮尺	1:100		
事務所名	瑞浪市		

4号函渠工構造図

S=1:100

設計条件

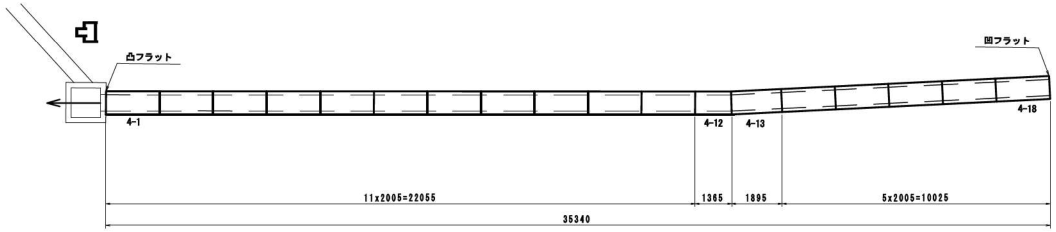
活荷重		——	T-25
土被り		m	0.2 ～ 3.0
単位体積重量	鉄筋コンクリート	kN/m3	24.5
	アスファルト舗装	kN/m3	22.5
	土	kN/m3	18.0
コンクリート設計基準強度		N/mm2	36
鉄筋の種類		——	SD295A
土圧係数		鉛直	1.0
		水平	0.5

ボックスカルバート　製品数量表

一式当り

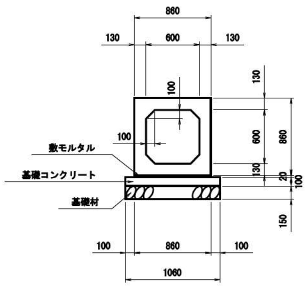
形 状 (BxHxL)	規 格	数量	製品番号	摘 要
600x 600x2000	標 準	14		参考質量；2000 kg
〃 x2000	標 準	1	4-1	凸フラット
〃 x2000	標 準	1	4-18	凹フラット
〃 x1365	短 切	1	4-12	
〃 x1895	短 切	1	4-13	
	合 計	18		

配列平面図



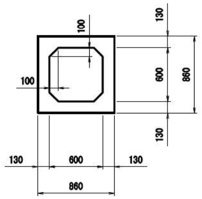
CP-N ボックスカルバート
600x600x2000 標準断面図

S=1:30

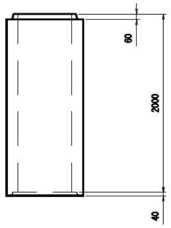


標 準 図 S=1:30

断 面 図



平 面 図



ボックスカルバート　材料表

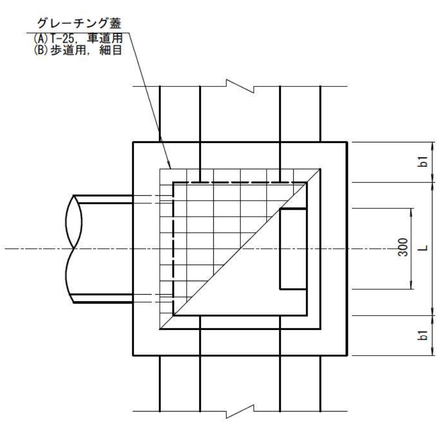
10m当り

種 別	規 格	単位	数 量	摘 要
ボックスカルバート	T-25 B600xH600xL2000	本	5.0	10.0/2.0
敷モルタル	1:3BB	m3	0.172	0.86x0.02x10.0
基礎コンクリート	18-8-25BB	m3	1.060	1.06x0.10x10.0
同上型枠		m2	2.000	0.10x10.0x2
基礎材 (t=150mm)	RC-40	m2	10.600	1.06x10.0

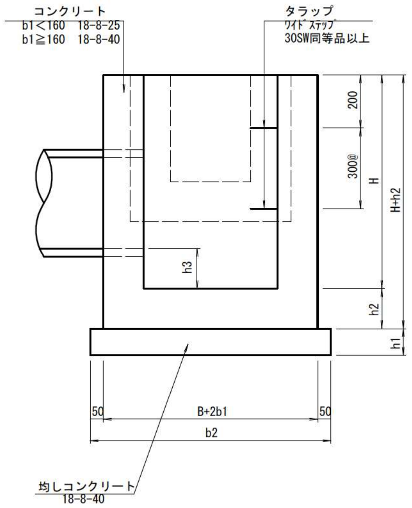
工事名	水上・猿爪線通学路安全対策工事（その2）		
路線名	市道水上猿爪線		
施工箇所名	瑞浪市　陶町　水上　地内		
図面の種類	4号函渠工構造図		
縮尺	1:100		
事務所名	瑞浪市		

集水桝工標準図

平面図



断面図



適用	名称	寸法表 (mm) B×L	H	b1	b2	10箇所当り材料表 コンクリート 規格	コンクリート (m³)	型枠 (m²)	均しコンクリート t=100 (m²)	均しコン型枠 (m²)	足場 (掛m²)	タラップ (本)	摘要
	G2-B 500-L 500-H 500	B500×L500	500	150	900	18-8-25BB	2.2	39	8.1	3.6	—	—	
	G2-B 500-L 500-H 600		600				2.6	44					
	G2-B 500-L 500-H 700		700				3.0	49					
	G2-B 500-L 500-H 800		800				3.4	54					
	G2-B 500-L 500-H 900		900				3.8	60					
	G2-B 500-L 500-H1000		1000				4.2	65					
	G2-B 500-L 500-H1100		1100	200	1000	18-8-40BB	6.7	75	10	4.0		30	
	G2-B 500-L 500-H1700		1700				10	109				50	
	G2-B 700-L 700-H 600	B700×L700	600	150	1100	18-8-25BB	3.9	56	12	4.4			
	G2-B 700-L 700-H 700		700				4.4	63					
	G2-B 700-L 700-H 800		800				4.9	70				—	
	G2-B 700-L 700-H 900		900				5.4	76					
	G2-B 700-L 700-H1100		1100	200	1200	18-8-40BB	9.0	95	14	4.8	—	30	
	G2-B 700-L 700-H1600		1600				12.6	131				40	
	G2-B 800-L 800-H1100	B800×L800	1100	200	1300	18-8-40BB	9.2	108	17	5.2	—	30	
	G2-B 800-L 800-H1200		1200				10	116				30	
	G2-B 800-L 800-H1300		1300				11	124				30	
	G2-B 800-L 800-H1400		1400				12	132				40	
	G2-B 800-L 800-H1500		1500				12	140				40	
	G2-B 800-L 800-H1600		1600				13	148				40	
	G2-B 800-L 800-H2000		1600				16.4	180			10.3	60	
	G2-B1000-L1000-H 500	B1000×L1000	500	150	1400	18-8-25BB	4.2	68	20	5.6	—		
	G2-B1000-L1000-H 600		600				4.9	77					
	G2-B1000-L1000-H 700		700				5.6	86					
	G2-B1000-L1000-H 800		800				6.3	95					
	G2-B1000-L1000-H 900		900				6.9	105					
○	G2-B1000-L1000-H1400		1400	200	1500	18-8-40BB	14.6	157	23	6.0	—	40	
○	G2-B1100-L1100-H1300	B1100×L1100	1300	200	1600	18-8-40BB	13.9	164	26	6.4	—	30	
○	G2-B1100-L1100-H1400		1400				14.9	174				40	
○	G2-B1100-L1100-H1500		1500				16.0	185				40	
○	G2-B1100-L1100-H1700		1700				18.1	205				50	
○	G2-B1100-L1100-H1900		1900				20.1	226				60	

※ 注記

1. 適用範囲
   集水桝内幅（B、L）５００～１５００、
   内高（H）５００～２０００の無筋場所
   打集水桝に適用する。
2. 名称記号
   設計図書に明示する名称は、下記による。
   G2 − B○○○ − L○○○ − H○○○
   - 側溝内高（mmで記入）
   - 道路縦断方向の内幅（mmで記入）
   - 道路横断方向の内幅（mmで記入）
   - 集水桝の形式
3. コンクリートの使用区分

壁厚	コンクリートの種類
b1＜160	18-8-25
b1≧160	18-8-40

4. 部材厚寸法表

桝の高さ	b1	h1
H ≦ 1000	150	100
1000 ＜ H ≦ 2000	200	100

B、又はL	h2
B、L ≦ 1500	150
B、L ＞ 1500	200

※ 但し、桝の高さが上表より大きくなる場合は、有筋等を検討するものとする。
壁厚（b1）は250以上とする。
尚、計算はラーメン構造計算、鉄筋は複鉄筋を標準とする。

5. 砂溜りの寸法

取付水路	h3
パイプの場合	300程度以上
U字側溝の場合	150程度以上

6. 集水桝の内幅は、管径＋200とする。
   （但し、斜角の場合は除く）
7. タラップは、H＞1000の場合に300ピッチで配置する。
8. 基礎は、均しコンクリート（18-8-40）を使用する。
9. 適用欄に、○印をつけたものが、本工事使用タイプである。
10. 集水桝は、蓋の種類別にタイプ分けを行うこととする。（平面図記載）
   (A)・・・グレーチング蓋（T-25）使用
   (B)・・・グレーチング蓋（歩道用，細目）使用

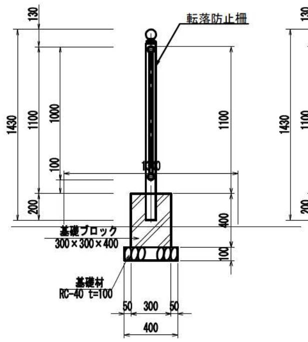
工事名	水上・猿爪線通学路安全対策工事（その2）
路線名	市道水上猿爪線
施工箇所名	瑞浪市　陶町　水上　地内
図面の種類	集水桝工標準図
縮尺	図示
事務所名	瑞浪市

防護柵工構造図（１）

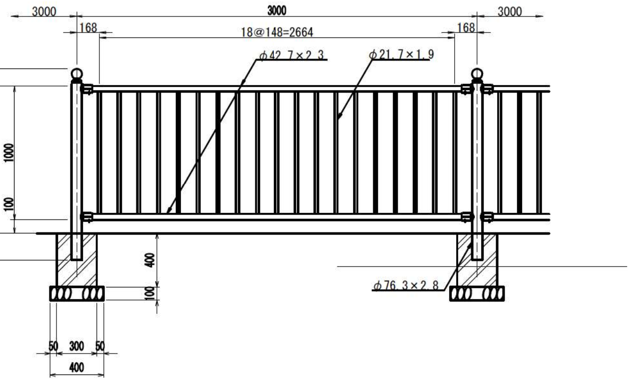
S=1:20

転落防止柵(A)

断　面　図



正面図

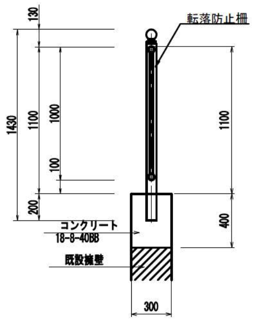


転落防止柵(A)　数量表 10m当り

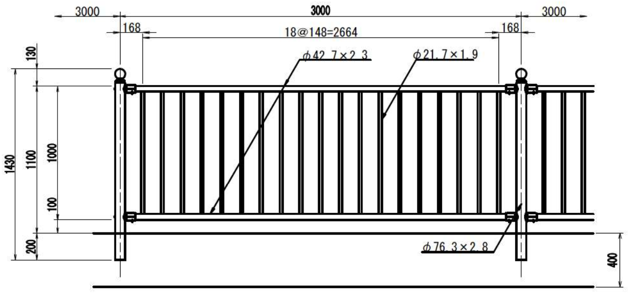
名称	規格	単位	数量	摘要
転落防止柵	H=1.1m	m	10.0	
基礎ブロック	300×300×400	個	3.3	
基礎材	RC-40 t=100	m2	0.5	

転落防止柵(B)

断　面　図



正面図

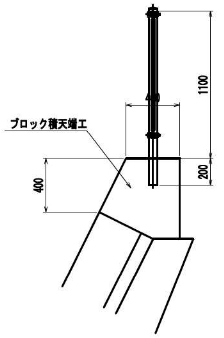


転落防止柵(B)　数量表 10m当り

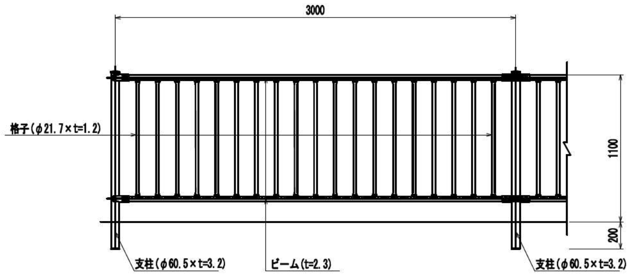
名称	規格	単位	数量	摘要
転落防止柵	H=1.1m	m	10.0	
コンクリート	18-8-40BB	m3	1.2	
型枠		m2	8.0	

転落防止柵(C)

断　面　図



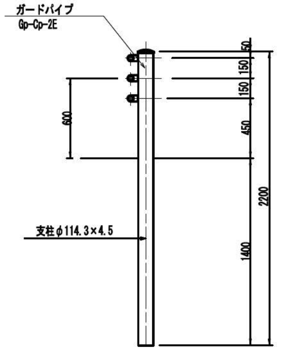
正面図



転落防止柵(C)　数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量	摘　要
転落防止柵	縦格子型 H=1.1m	m	10.0	

ガードパイプ



ガードパイプ　数量表 10m当り

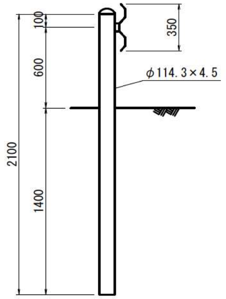
名称	規格	単位	数量	摘　要
ガードパイプ	Gp-Cp-2E	m	10.0	

工事名	水上・猿爪線通学路安全対策工事（その2）
路線名	市道水上猿爪線
施工箇所名	瑞浪市　陶町　水上　地内
図面の種類	防護柵工構造図（１）
縮尺	1:20
事務所名	瑞浪市

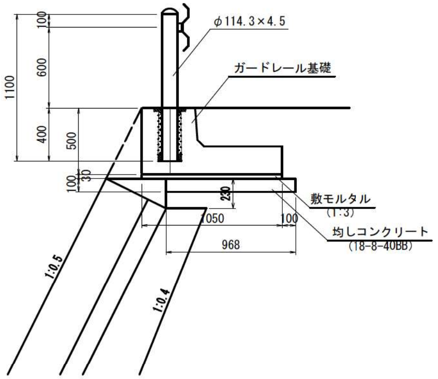
防護柵工構造図（2）

S=1:20

Gr-C-4E
S=1:20



Gr-C-2B
S=1:20



Gr-C-4E 材料表 10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
ガードレール	Gr-C-4E	m	10.0	

Gr-C-2B 材料表 10m当り

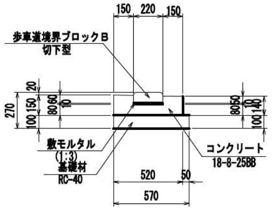
名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
ガードレール	Gr-C-2B	m	10.0	
ガードレール基礎		m	10.0	
敷モルタル	1:3BB	m3	0.3	
均しコンクリ	18-8-40BB t=100	m2	9.4	
均しコン型枠		m2	1.0	

工事名	水上・猿爪線通学路安全対策工事（その2）	
路線名	市道水上猿爪線	
施工箇所名	瑞浪市　陶町　水上　地内	
図面の種類	**防護柵工構造図（2）**	
縮尺	1:20	
事務所名	瑞浪市	

縁石工構造図

S=1:20

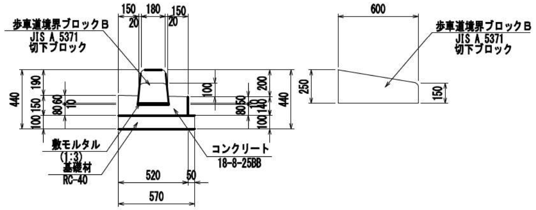
歩車道境界ブロック(A)
(巻込、乗入部)



歩車道境界ブロック(A)　材料表　　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
ｺﾝｸﾘｰﾄ縁石	両面歩車道境界ブロックB 切下型	m	10.0	L=600
コンクリート	18-8-25BB	m3	0.6	
型　枠		m2	2.9	
敷モルタル	1:3	m3	0.02	
基 礎 材	RC-40　t=100	m2	5.7	

歩車道境界ブロック(B)
(ガードパイプ接続部)



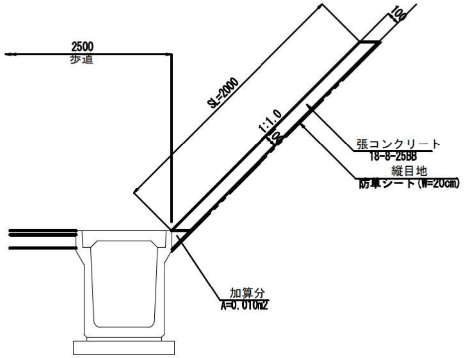
歩車道境界ブロック(B)　材料表　　10箇所当り

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
ｺﾝｸﾘｰﾄ縁石	切下ブロック	m	6.0	L=600
コンクリート	18-8-25BB	m3	0.4	
型　枠		m2	1.7	
敷モルタル	1:3	m3	0.01	
基 礎 材	RC-40　t=100	m2	3.4	

工事名	水上・猿爪線通学路安全対策工事（その2）
路線名	市道水上猿爪線
施工箇所名	瑞浪市　陶町　水上　地内
図面の種類	縁石工構造図
縮尺	1:20
事務所名	瑞浪市

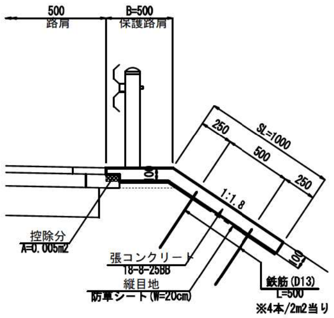
法面保護詳細図

（切土部） 法面保護詳細図
(L5～L7) S=1:20



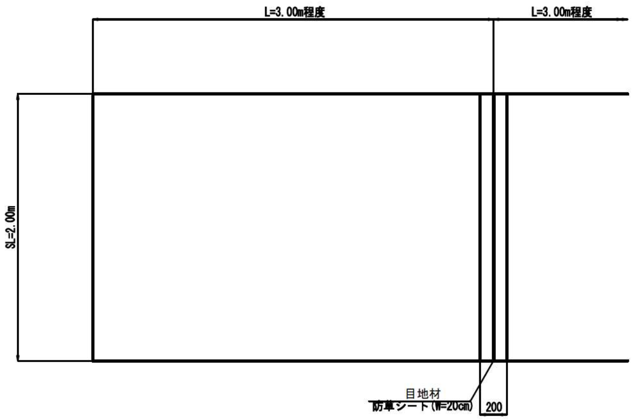
※ひび割れ防止のため、３ｍ間隔で縦目地を設置する。
（目地部分からの草が繁茂するのを防ぐため、目地部分に
防草シート(W=20cm)を設置してから張コンクリートを打設する。）

（盛土部） 法面保護詳細図
(L1～L4) S=1:20



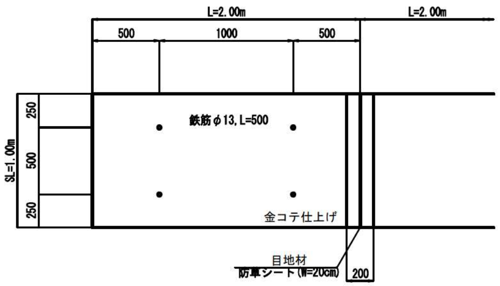
※ひび割れ防止のため、２ｍ間隔で縦目地を設置する。
（目地部分からの草が繁茂するのを防ぐため、目地部分に
防草シート(W=20cm)を設置してから張コンクリートを打設する。）

（切土部） 法面保護平面図
S=1:20



※目地部分には幅20cmの
防草シートを張コンの下に設置する。 目地材

（盛土部） 法面保護平面図
S=1:20



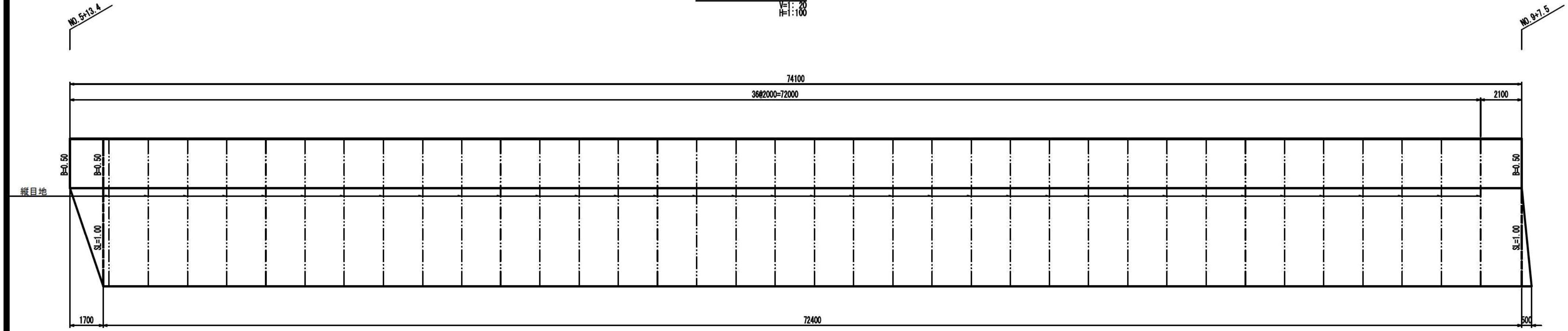
※目地部分には幅20cmの
防草シートを張コンの下に設置する。 目地材

工事名	水上・猿爪線通学路安全対策工事（その2）	
路線名	市道水上猿爪線	
施工箇所名	瑞浪市　陶町　水上　地内	
図面の種類	法面保護詳細図	
縮　　尺	1:20	
事 務 所 名	瑞浪市	

法面保護展開図

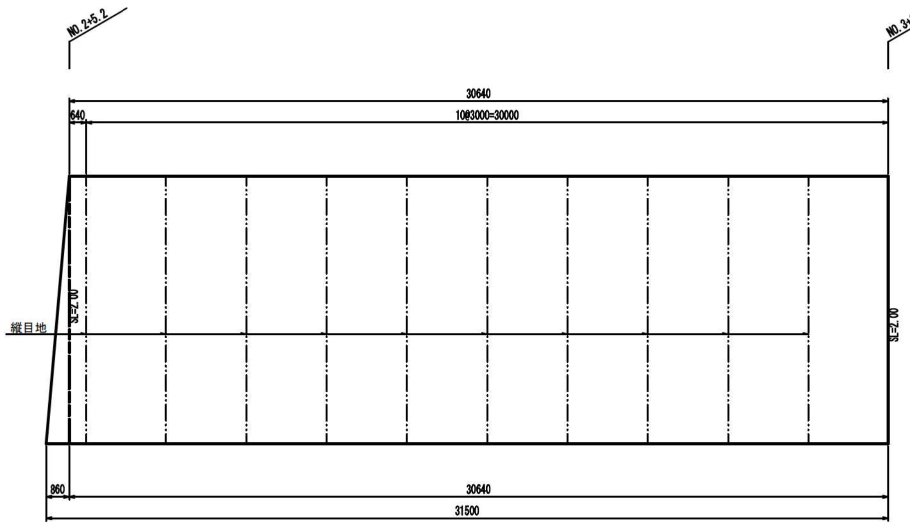
（盛土部）
法面保護左側

V=1: 20
H=1:100



（切土部）
法面保護左側

V=1: 20
H=1:100

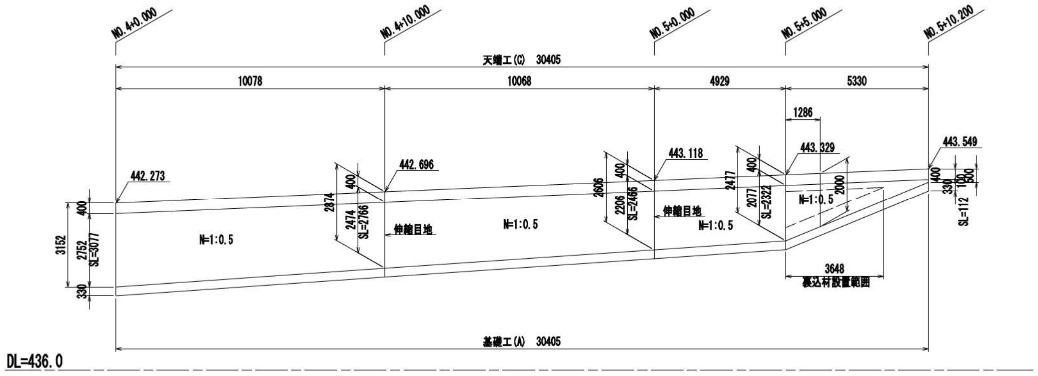


工事名	水上・猿爪線通学路安全対策工事（その2）		
路線名	陶中学校・平線		
施工箇所名	瑞浪市　陶町 水上　地内		
図面の種類	法面保護展開図		
縮　　尺	図　示		
事 務 所 名	瑞浪市		

ブロック積展開図（1）

S=1:100

1号ブロック積
（水上猿爪線）



裏込材寸法表

測　点	裏込材高	裏込材下端幅	裏込材面積
NO.4+ 0.000	2.028	0.503	0.814
NO.4+10.000	1.750	0.475	0.678
NO.5+ 0.000	1.482	0.448	0.554
NO.5+ 5.000	1.353	0.435	0.497

裏込材高=ブロック積高−0.624−0.500
裏込材下端幅=0.300+裏込材高×0.100
裏込材面積=1/2×(0.300+裏込材下端幅)×裏込材高
注：裏込材高は　施工時に現況地形整合した埋戻高を設定し　調整を行うこと。

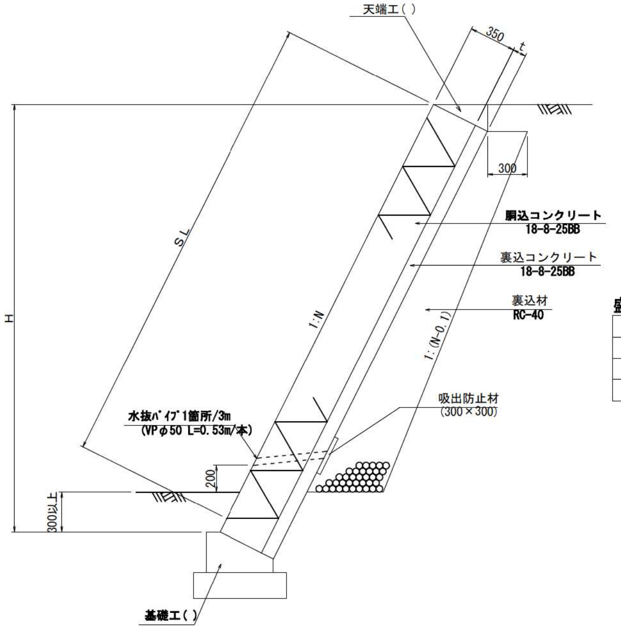
1号ブロック積擁壁　材料表　　1式当り

名　　称	規　　格	単位	数　量	摘　　要
積ブロック	控350	m^2	74.1	
胴込コンクリート	18-8-25BB	m^3	16.3	
裏込コンクリート	18-8-25BB	m^3	11.1	
裏 込 材	RC-40	m^3	17.2	
水抜きパイプ	VPφ50	m	9.0	
吸出防止材	300×300×30	m^2	1.5	
伸縮目地	瀝青目地材 t=12	m^2	2.6	
単管傾斜足場		掛m^2	82.0	
天端工	天端工(C)	m	30.4	
基礎工	基礎工(A)	m	30.4	

工事名	水上・猿爪線通学路安全対策工事（その2）
路線名	市道水上猿爪線
施工箇所名	瑞浪市　陶町　水上　地内
図面の種類	ブロック積展開図
縮尺	S=1:100
事務所名	瑞浪市

ブロック積構造図

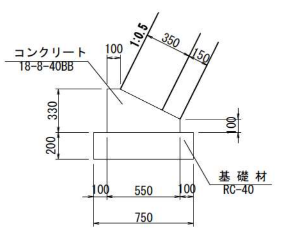
ブロック積擁壁断面図 (盛土部路側ブロック積) S=1:20



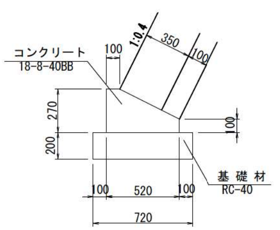
盛土部　路側ブロック積

直　高 (m)	1.5m以下	1.5m～3.0m	3.0m～5.0m
前面勾配　N	1:0.3	1:0.4	1:0.5
裏込コンクリート厚(cm) t	5	10	15

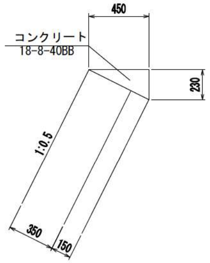
基礎工(A) S=1:20



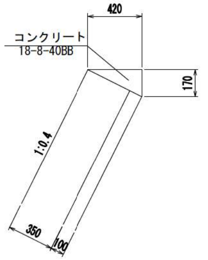
基礎工(B) S=1:20



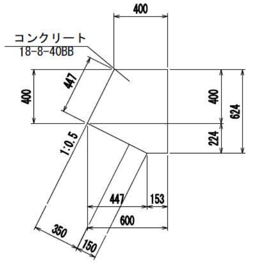
天端工(A) S=1:20



天端工(B) S=1:20



天端工(C) S=1:20



基礎工(A)　材料表　　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
コンクリート	18-8-40BB	m³	1.3	
型　枠		m²	4.3	
基 礎 材	RC-40 t=200	m²	7.5	
目　地	瀝青目地材 t=12	m²	0.1	

基礎工(B)　材料表　　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
コンクリート	18-8-40BB	m³	1.0	
型　枠		m²	3.7	
基 礎 材	RC-40 t=200	m²	7.2	
目　地	瀝青目地材 t=12	m²	0.1	

天端工(A)　材料表　　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
コンクリート	18-8-40BB	m³	0.5	
型　枠		m²	2.3	

天端工(B)　材料表　　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
コンクリート	18-8-40BB	m³	0.4	
型　枠		m²	1.7	

天端工(C)　材料表　　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
コンクリート	18-8-40BB	m³	2.8	
型　枠		m²	10.7	

工事名	水上・猿爪線通学路安全対策工事（その2）	
路線名	市道水上猿爪線	
施工箇所名	瑞浪市　陶町　水上　地内	
図面の種類	ブロック積構造図	
縮尺	図示	
事務所名	瑞浪市	

水上猿爪線、陶中学校・平線　舗装展開図

舗装構成図
S=1:20

<車道舗装(A)>

50 / 150 / 200 / 300 (400)

表層工：再生密粒度アスコン(top20)	t= 50
上層路盤工：粒度調整砕石(M-30)	t=150
下層路盤工：再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ(RC-40)	t=200
路床改良工：（セメント安定処理）	t=300

<車道舗装(B)>

40 / 100 / 180 (320)

表層工：再生密粒度アスコン(top20)	t= 40
上層路盤工：粒度調整砕石(M-30)	t=100
下層路盤工：再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ(RC-40)	t=180

<路肩舗装>

50 / 100 (150)

表層工：再生密粒度アスコン(top20)	t= 50
路盤工：再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ(RC-30)	t=100

<歩道舗装>

30 / 100 (130)

表層工：再生細粒度アスコン(top13)	t= 30
路盤工：再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ(RC-30)	t=100

<取付道路舗装>

50 / 100 (150)

表層工：再生密粒度アスコン(top20)	t= 50
路盤工：再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ(RC-30)	t=100

<乗入舗装(A)>

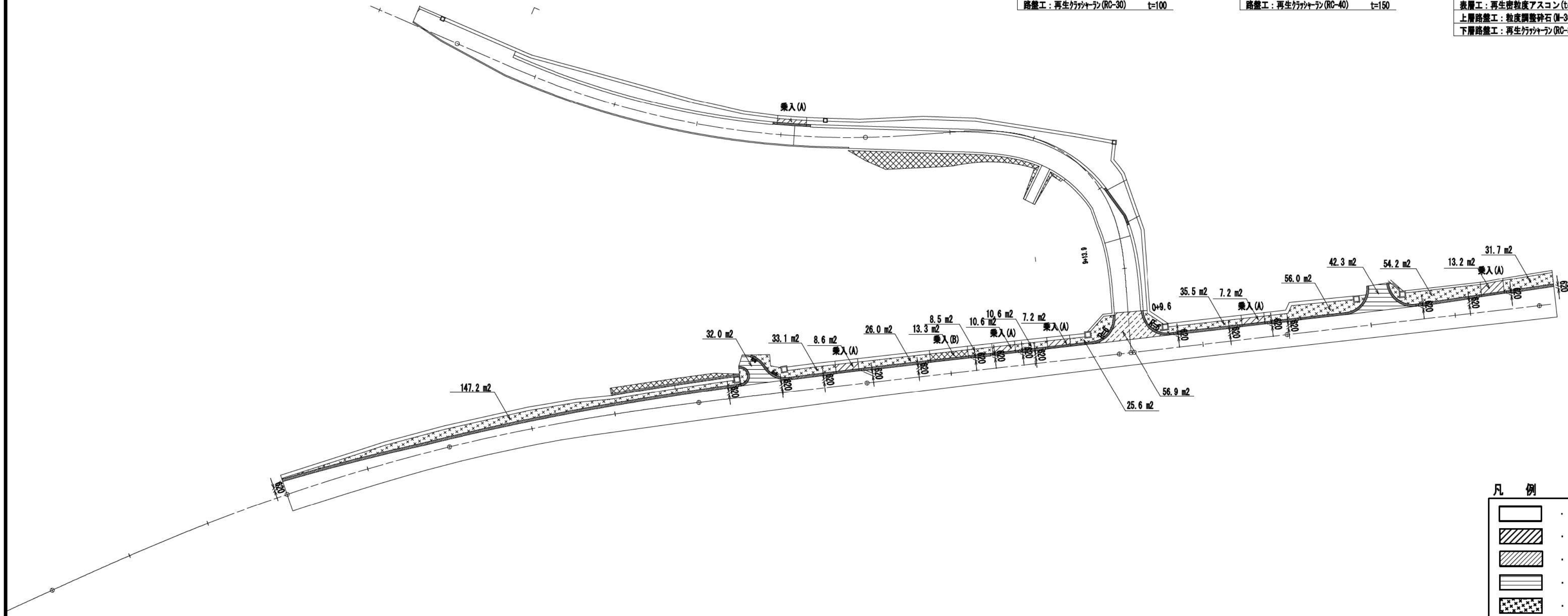
40 / 150 (190)

表層工：再生密粒度アスコン(top20)	t= 40
路盤工：再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ(RC-40)	t=150

<乗入舗装(B)>

50 / 100 / 100 (250)

表層工：再生密粒度アスコン(top20)	t= 50
上層路盤工：粒度調整砕石(M-30)	t=100
下層路盤工：再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ(RC-30)	t=100



凡　例

- ・・・・車道舗装(A)
- ・・・・車道舗装(B)
- ・・・・路肩舗装
- ・・・・取付道路舗装
- ・・・・歩道舗装
- ・・・・乗入舗装(A)
- ・・・・乗入舗装(B)

工事名	水上・猿爪線通学路安全対策工事（その２）		
路線名			
施工箇所名	瑞浪市陶町水上地内		
図面の種類	舗装展開図		
縮尺	1:500		
事務所名	瑞浪市		

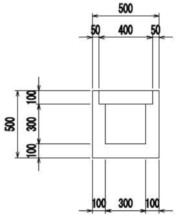
水上猿爪線、陶中学校・平線　取壊し撤去平面図

工事名	水上・猿爪線通学路安全対策工事（その２）
路線名	市道水上猿爪線
施工箇所名	瑞浪市　陶町　水上　地内
図面の種類	取壊し撤去平面図
縮尺	1:500
事務所名	瑞浪市

取壊し工構造図（１）

S=1:20

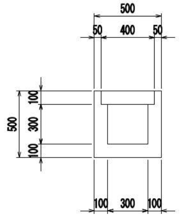
側溝(A)取壊し



側溝(A)取壊し　　数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量	摘　要
コンクリート取壊し	無　筋	m3	1.2	
コンクリート取壊し	有　筋	m3	0.4	

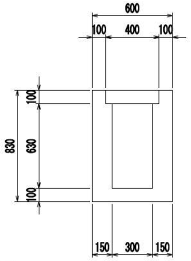
側溝(B)取壊し



側溝(B)取壊し　　数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量	摘　要
コンクリート取壊し	無　筋	m3	1.2	
グレーチング蓋撤去		枚	10	

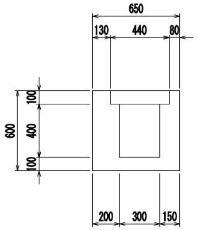
側溝(C)取壊し



側溝(C)取壊し　　数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量	摘　要
コンクリート取壊し	無　筋	m3	2.7	
コンクリート取壊し	有　筋	m3	0.4	

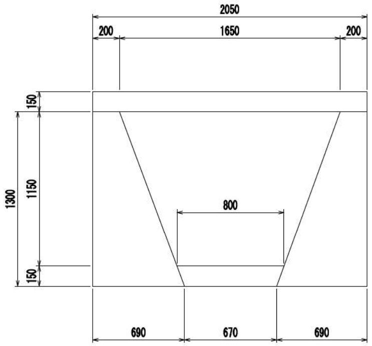
側溝(D取壊し



側溝(D取壊し　　数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量	摘　要
コンクリート取壊し	無　筋	m3	2.3	
コンクリート取壊し	有　筋	m3	0.4	

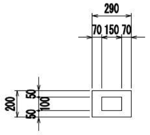
側溝(E)取壊し



側溝(E)取壊し　　数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量	摘　要
コンクリート取壊し	無　筋	m3	12.7	
コンクリート取壊し	有　筋	m3	3.1	

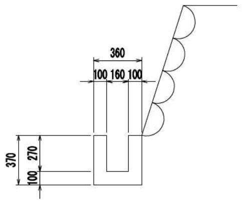
側溝(F)取壊し



側溝(F)取壊し　　数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量	摘　要
コンクリート取壊し	有　筋	m3	0.4	

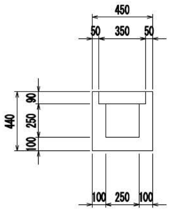
側溝(G)取壊し



側溝(G)取壊し　　数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量	摘　要
コンクリート取壊し	無　筋	m3	0.9	

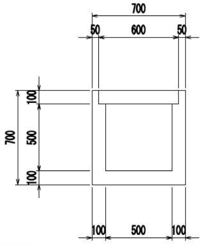
側溝(H)取壊し



側溝(H)取壊し　　数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量	摘　要
コンクリート取壊し	無　筋	m3	1.0	
コンクリート取壊し	有　筋	m3	0.3	

側溝(I)取壊し



側溝(I)取壊し　　数量表 10m当り

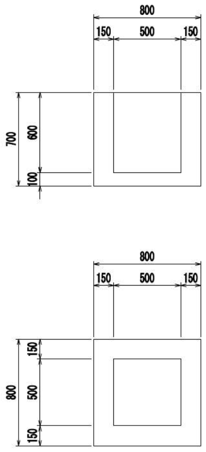
名称	規格	単位	数量	摘　要
コンクリート取壊し	無　筋	m3	1.8	
コンクリート取壊し	有　筋	m3	0.6	

工事名	水上・猿爪線通学路安全対策工事（その２）		
路線名	水上・猿爪線		
施工箇所名	瑞浪市　陶町　水上　地内		
図面の種類	取壊し工構造図（１）		
縮　　尺	1:20		
事 務 所 名	瑞浪市		

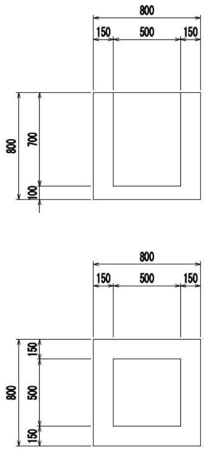
取壊し工構造図（3）

S=1:20

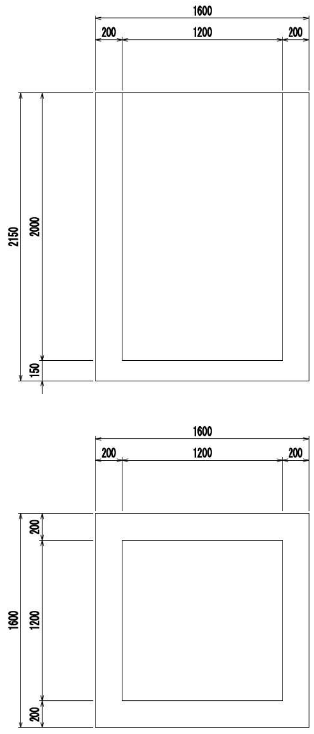
集水桝500×500×600 取壊し



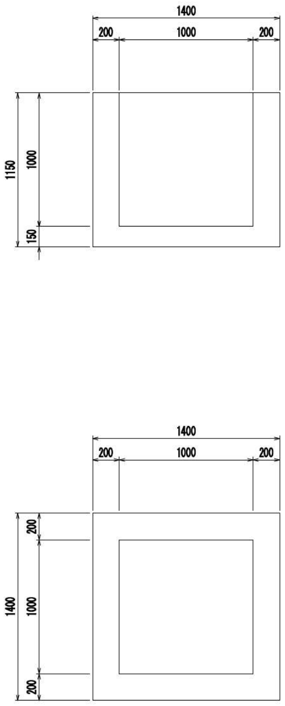
集水桝500×500×700 取壊し



集水桝1200×1200×2000 取壊し



集水桝1000×1000×1000 取壊し



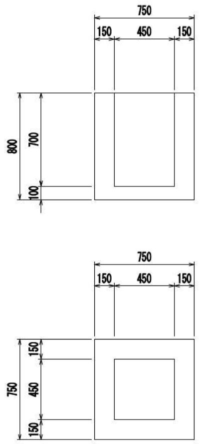
集水桝 500×500×600 取壊し　　数量表 10箇所当り

名称	規格	単位	数量	摘　要
コンクリート取壊し	無　筋	m3	3.0	

集水桝 500×500×700 取壊し　　数量表 10箇所当り

名称	規格	単位	数量	摘　要
コンクリート取壊し	無　筋	m3	3.4	

集水桝450×450×700 取壊し



集水桝1200×1200×2000 取壊し　　数量表 10箇所当り

名称	規格	単位	数量	摘　要
コンクリート取壊し	無　筋	m3	26.2	

集水桝1000×1000×1000 取壊し　　数量表 10箇所当り

名称	規格	単位	数量	摘　要
コンクリート取壊し	無　筋	m3	12.5	

集水桝 450×450×700 取壊し　　数量表 10箇所当り

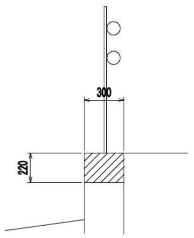
名称	規格	単位	数量	摘　要
コンクリート取壊し	無　筋	m3	3.1	

工事名	水上・猿爪線通学路安全対策工事（その２）
路線名	水上・猿爪線
施工箇所名	瑞浪市　陶町 水上　地内
図面の種類	取壊し工構造図（３）
縮　　尺	1:20
事 務 所 名	瑞浪市

取壊し工構造図（2）

S=1:20

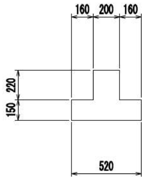
転落防止柵基礎取壊し



転落防止柵基礎取壊し　　数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量	摘　要
コンクリート取壊し	無 筋	m3	0.7	

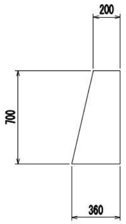
縁石取壊し



縁石取壊し　　数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量	摘　要
コンクリート取壊し	無 筋	m3	0.8	
コンクリート取壊し	有 筋	m3	0.4	

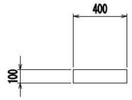
擁壁取壊し



擁壁取壊し　　数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量	摘　要
コンクリート取壊し	無 筋	m3	2.0	

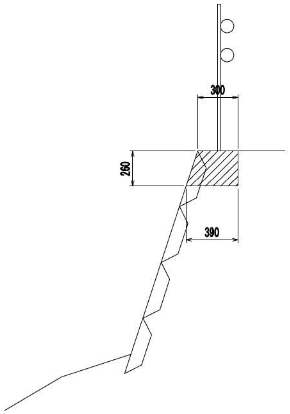
側溝蓋(A)取壊し



側溝蓋(A)取壊し　　数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量	摘　要
コンクリート取壊し	有 筋	m3	0.4	

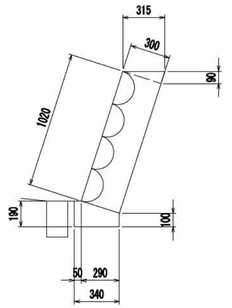
ブロック積取壊し



ブロック積取壊し　　数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量	摘　要
コンクリート取壊し	無 筋	m3	0.9	

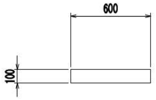
玉石積取壊し



玉石積取壊し　　数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量	摘　要
コンクリート取壊し	無 筋	m3	3.7	

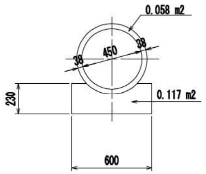
側溝蓋(B)取壊し



側溝蓋(A)取壊し　　数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量	摘　要
コンクリート取壊し	有 筋	m3	0.6	

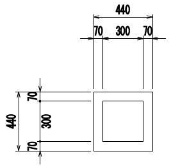
管渠φ450取壊し



管渠φ450取壊し　　数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量	摘　要
コンクリート取壊し	無 筋	m3	1.2	
コンクリート取壊し	有 筋	m3	0.6	

暗渠300×300取壊し



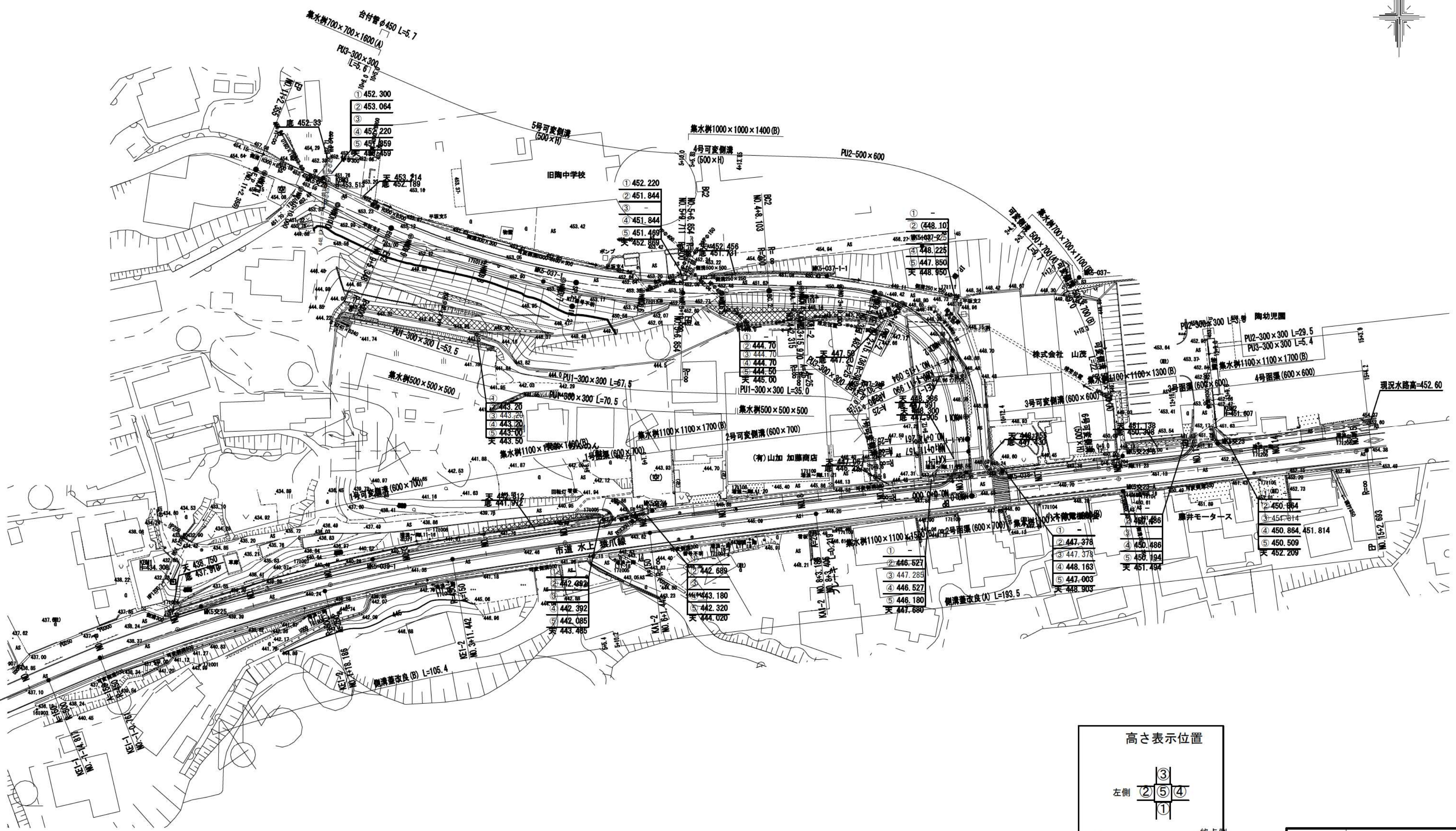
暗渠300×300取壊し　　数量表 10m当り

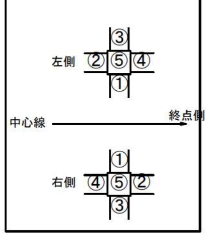
名称	規格	単位	数量	摘　要
コンクリート取壊し	有 筋	m3	1.0	

工事名	水上・猿爪線通学路安全対策工事（その２）	
路線名	水上・猿爪線	
施工箇所名	瑞浪市　陶町 水上　地内	
図面の種類	取壊し工構造図（２）	
縮　　尺	1:20	
事 務 所 名	瑞浪市	

水上猿爪線、陶中学校・平線　排水系統図

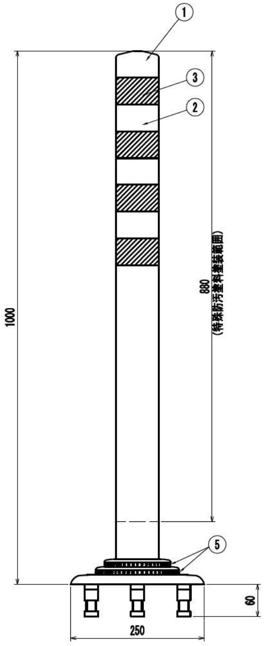
S=1:500





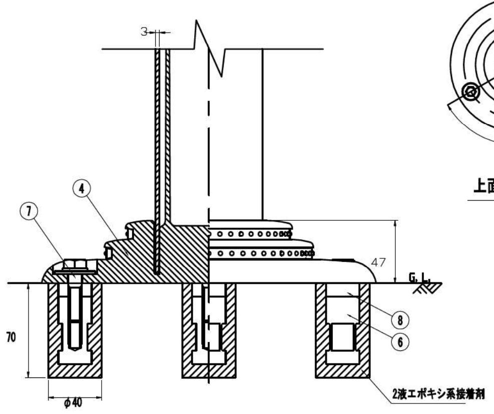
工事名	水上・猿爪線通学路安全対策工事（その２）
路線名	水上猿爪線
施工箇所名	瑞浪市　陶町　水上　地内
図面の種類	排水系統図
縮尺	1:500
事務所名	瑞浪市

車止め構造図
（参考図）

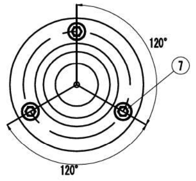


姿図 S=1/5

品番	品　名	数量	材　質	備　考
1	キャップ	1	特殊ウレタン樹脂（特殊防汚塗料塗装処理（注1））	赤　色
2	本　体	1	特殊ウレタン樹脂（特殊防汚塗料塗装処理（注1））	赤　色
3	反射材	4	フレキシブルプリズム反射シート（特殊防汚塗料塗装処理（注1））	白　色
4	ベース部	1	特殊ウレタン樹脂	赤　色
5	反射体	-	ガラスビーズ	白　色
6	埋込アンカー	3	アルミニウム合金	―――
7	取付ボルト	3	ステンレス（M10×40）	―――
8	スペーサー	3	合成ゴム	―――



ベース部（設置図）S=1/2



上面図 S=1/5

車止め　材料表　　10箇所当り

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
車止め	H=1000	個	10.0	

業務名/工事名	水上・猿爪線通学路安全対策工事（その２）
路線・河川名等	
施工箇所名	瑞浪市陶町水上地内
図面の種類	車止め構造図
縮尺	図示
事務所名	瑞浪市